

講義概要Ⅲ

2026年度

教養演習

経営学部

経営学科

経営学部 経営学科

担当者一覧

	教員名	ページ
1	宇田 康利	P. 2～
2	川井 敏之	P. 12～
3	吉良 友人	P. 22～
4	蘇 君業	P. 32～
5	陳 惠貞	P. 42～
6	手嶋 竜二	P. 52～
7	豊福 尚男	P. 62～
8	中原 敬介	P. 72～
9	林 薫	P. 82～
10	林部 由香	P. 92～
11	日笠 倫周	P. 102～
12	藤本 宏美	P. 112～
13	眞鍋 敏之	P. 122～
14	村上 洋之	P. 132～
15	森山 泰幸	P. 142～
16	渡邊 憲二	P. 152～

コード	32263
名称	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-32263)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	32263
4.授業科目	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-32263)
5.単位	2
6.担当教員	宇田 康利
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 演習	
17.授業方法 受動型 アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用	
19.接続科目 地域社会	
20.授業の概要 経営学部経営学科の教養科目として、本学の教育目標の1つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標としています。 教科書に沿ってノートの取り方，レポートの書き方，資料収集などの基本的知識を学びます。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。

具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を身につけます。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。

具体的には、モチベーションアップ・レセプションや学生同士、学生と教員との親睦等を通じて学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけます。

22.授業計画

<講義方法>

この講義は原則、対面講義で行います。対面、オンラインに係わらずwebclass等にて講義後レポートの回収を行う。オンラインの場合、ZOOMもしくはYouTubeで行います。

<注意事項>

- ・新型コロナウイルス感染状況等により、対面とオンラインの併用や、オンラインのみに変更になる可能性があります。
- ・以下のシラバスは学生の興味関心に応じて、講義内容を多少変更する可能性があります。

<シラバス>

1 時間割作成・検印・自己（他己）紹介

事前学修：学生便覧を読んで時間割を作成しておくこと。

事後学修：時間割について指導された内容を反映させること。

2 高校の授業と大学の講義の違いはどこにあるのか

教科書：「新・知のツールボックス」プロローグ

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

3 ノートの取り方を理解しよう

教科書：「新・知のツールボックス」第1章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

4 マインドマップを作ってみよう

教科書：「新・知のツールボックス」第1章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：マインドマップを見て自分の考えを再整理する。

5 色々な大学の教員と接してみよう。モチベーションアップ・レセプション。

事前学修：在学中にやりたいことや将来の目標について考えてみること。

事後学修：自分の目標を達成するためにはどうすれば良いのかを再度考えてみる。

6 図書館で調べ物をしてみよう

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：図書館に行ってみて自分で気になる本を探してみる。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

7 メディア・リテラシーとは何か

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

8 テーマを決めて実際に調べてみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

9 テーマを決めて実際に調べてみよう-発展編-

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

10 テーマを決めて実際に調べてみよう-まとめ-

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

11 文章を読んでみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

12 文章を読んでみよう-作者の主張していることの把握-

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

13 文章を読んでみよう-パラグラフを見分ける-

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

14 文章を読んでみよう-まとめ-

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

15 前期のまとめ

事前学修：前期で行った講義内容で苦手な箇所を把握すること。

事後学修：前期の講義を踏まえて苦手だった箇所を復習すること。

23.予習・復習

予習：3時間 講義で与えられた課題の調査や発表の準備

復習：1時間 各回の内容の整理

24.注意事項

授業内の課題・プレゼンテーションなどは適宜コメントを入れてフィードバックします。

25.教材

26.教科書

ISBN	9780000000000
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年，3年及び4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	25
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	10
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	10

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	講義時間に出たテーマについて調べレポート	20
成果発表	ディスカッションディベート、プレゼンテーション	30
受講態度	授業への貢献度（授業中の発言、グループ討議への取り組み姿勢など）で評価する。	50
その他		

コード	33083
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33083)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33083
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33083)
5.単位	2
6.担当教員	宇田 康利
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 演習	
17.授業方法 受動型 アクティブラーニング：課題解決型 アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク	
18.受講生のPC等使用	
19.接続科目 地域社会	
20.授業の概要 経営学部経営学科の教養科目として、本学の教育目標の1つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標としています。教科書に沿ってノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を学びます。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を身につけます。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。具体的には、モチベーションアップ・レセプションや学生同士、学生と教員との親睦等を通じて学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけます。

22.授業計画

<講義方法>

この講義は原則、対面講義で行います。対面、オンラインに係わらずwebclass等にて講義後レポートの回収を行う。オンラインの場合、ZOOMもしくはYouTubeで行います。

<注意事項>

- ・新型コロナウイルス感染状況等により、対面とオンラインの併用や、オンラインのみに変更になる可能性があります。
- ・以下のシラバスは学生の興味関心に応じて、講義内容を多少変更する可能性があります。

<シラバス>

- 1 後期時間割作成・前期の成績について
事前学修：講義概要をもとに時間割を作成しておくこと。
事後学修：前期の成績を踏まえて後期の目標を立てること。
- 2 議論をしてみよう-導入編- 教科書：「新・知のツールボックス」第4章
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 3 議論をしてみよう-実際の議論を体験してみる- 教科書：「新・知のツールボックス」第4章
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 4 議論をしてみよう-議論を振り返ってみよう- 教科書：「新・知のツールボックス」第4章
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 5 レポートを書いてみよう-導入編- 教科書：「新・知のツールボックス」第5章
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 6 レポートを書いてみよう-レポートを書く手順を知ろう- 教科書：「新・知のツールボックス」第5章
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 7 レポートを書いてみよう-正確な文章を書くために必要なことは- 教科書：「新・知のツールボックス」第5章
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 8 経営学科の2年演習コース説明会
事前学修：講義概要を読んで経営学科の3つのコースについて把握しておくこと。
事後学修：コース説明会やシラバスを読んで自分の行きたいコースを選択すること。
- 9 プレゼンテーションをしてみよう-導入編- 教科書：「新・知のツールボックス」第6章
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 10 プレゼンテーションをしてみよう-班の設定とグループワーク- 教科書：「新・知のツールボックス」第6章
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 11 プレゼンテーションをしてみよう-課題の作成- 教科書：「新・知のツールボックス」第6章
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 12 プレゼンテーションをしてみよう-課題の作成- 教科書：「新・知のツールボックス」第6章
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 13 プレゼンテーションをしてみよう-課題の報告- 教科書：「新・知のツールボックス」第6章
事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。
事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。
- 14 プレゼンテーションをしてみよう-課題の報告- 教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。
事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

15 後期のまとめ

事前学修：後期で行った講義内容で苦手な箇所を把握すること。
事後学修：次年度の研究演習2年に向けて必要なスキルを確認しておくこと。

23.予習・復習

予習：3時間 講義で与えられた課題の調査や発表の準備

復習：1時間 各回の内容の整理

24.注意事項

授業内の課題・プレゼンテーションなどは適宜コメントを入れてフィードバックします。

25.教材

26.教科書

27.参考書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

28.授業関連科目

研究演習2年，3年及び4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	25
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	10
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	10

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	講義時間に出たテーマについて調べレポート	20
成果発表	ディスカッションディベート、プレゼンテーション	30
受講態度	授業への貢献度（授業中の発言、グループ討議への取り組み姿勢など）で評価する。	50
その他		

コード	32486
名称	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-32486)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	32486
4.授業科目	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-32486)
5.単位	2
6.担当教員	川井 敏之
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 演習 実習・実技	
17.授業方法 受動型 アクティブラーニング：ディスカッションディベート アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（学生自身が準備）	
19.接続科目	
20.授業の概要 少人数クラスの中で、各自が考え、積極的にお互いの意見を交換しながら表現力やコミュニケーション能力を高めていく。また、その演習の中で、大学生として求められる基礎的、基本的な知識とスキルを身につける。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。

具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を身につけることができる。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍するためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。

具体的には、経営学科行事や学生同士、学生と教員との親睦等を通じてつきあいを円滑にする人間関係、コミュニティ活動に関連する大学生活で必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけることができる。

22.授業計画

<講義方法>

本演習は、対面授業で行います。対面時においても『WebClass』で資料配付やレポート提出について連絡しますので、必ず確認してください。

また、新型コロナウイルス感染状況等により、学校閉鎖になるなど対面授業が行えない場合は、「ZOOM」を使用したオンライン授業を行います。その場合は講義前日までに具体的な指示を『WebClass』の「メッセージ」や「お知らせ」に連絡事項を載せますので、確認してください。

<授業における基本的な事項>

対面授業：教室にて、成果発表，レポート提出を行う。

オンライン授業：「ZOOM」で成果発表，『WebClass』からレポート提出を行う。

<シラバス>

1 時間割作成、仲間づくり（自己・他己紹介）

事前学修：学生便覧を読んで時間割を作成しておくこと。

事後学修：時間割について指導された内容を反映させること。

2 目標探し、グループ活動、ゼミ内組織づくり

教科書：「新・知のツールボックス」プロローグ

事前学修：大学生としてこれからやりたいことリストを考えておく。

事後学修：提出課題を作成すること。

3 高校の授業と大学の講義の違いはどこにあるのか

教科書：「新・知のツールボックス」第1章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

4 学びの攻略法、授業の聴き方・ノートの取り方を学ぶ

教科書：「新・知のツールボックス」第1章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

5 メディア・リテラシーを学ぶ

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

6 図書館の使い方を学ぶ

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：実際に興味のある本を借りて読んでみる。

7 ネットのコミュニケーションを活用する

教科書：「新・知のツールボックス」第7章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

8 モチベーションアップレセプション（経営学科行事）

事前学修：在学中にやりたいことや将来の目標について考えてみる。

事後学修：自分の目標を達成するためにはどうすれば良いのかを再度考えてみる。

9 文章を読んでみよう

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

10 グループ協議-ゼミ内活動について-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

11 グループ協議-人間関係づくりについて-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

12 レポートを書いてみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

13 レポートを書いてみよう-レポートを書く手順を知る-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

14 プレゼンテーションについて学習しよう

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

15 前期のまとめ

事前学修：前期で行った講義・演習内容を振り返り自己課題を把握すること。

事後学修：前期の振り返りをふまえて、後期に向けた準備をすること。

23.予習・復習

予習(2時間程度)：授業資料の該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。

復習(2時間程度)：演習内容の振り返りと整理をし、提出課題を作成すること。

24.注意事項

毎回ノートパソコン、教科書を持参すること。ノートパソコンはメール・レポート・スライド作成の演習やインターネット検索に利用する。そのため、あらかじめインターネットへの接続可能な学内Wi-Fiに接続設定をしておく。

学生の興味関心、演習進度に応じて、演習内容を変更する可能性がある。

フィードバックについては提出課題にコメント等をつけて次の授業で返却する。

25.教材

必要に応じてプリントを配付する。

26.教科書

ISBN	9780000000000
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年，研究演習3年，研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	30
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	15
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	15
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	演習テーマごとのレポート提出	30
成果発表	テーマ設定に基づいたゼミ内プレゼンテーション	40
受講態度	発表を受けての質問や討議などへの積極的な演習参加態度	30
その他		

コード	33089
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33089)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33089
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33089)
5.単位	2
6.担当教員	川井 敏之
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	

12.実務経験

13.実務経験：内容

14.実務経験：授業との関連

15.初年次教育

初年次教育

16.授業形態

演習
実習・実技

17.授業方法

受動型
アクティブラーニング：ディスカッションディベート
アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク
アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

PC・タブレット（学生自身が準備）

19.接続科目

20.授業の概要

少人数クラスの中で、各自が考え、積極的にお互いの意見を交換しながら表現力やコミュニケーション能力を高めていく。また、その演習の中で、大学生として求められる基礎的、基本的な知識とスキルを身につける。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。

具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を身につけることができる。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍するためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。

具体的には、経営学科行事や学生同士、学生と教員との親睦等を通じてつきあいを円滑にする人間関係、コミュニティ活動に関連する大学生活で必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけることができる。

22.授業計画

<講義方法>

本演習は、対面授業で行います。対面時においても『WebClass』で資料配付やレポート提出について連絡しますので、必ず確認してください。

また、新型コロナウイルス感染状況等により、学校閉鎖になるなど対面授業が行えない場合は、「ZOOM」を使用したオンライン授業を行います。その場合は講義前日までに具体的な指示を『WebClass』の「メッセージ」や「お知らせ」に連絡事項を載せますので、確認してください。

<授業における基本的な事項>

対面授業：教室にて、成果発表，レポート提出を行う。

オンライン授業：「ZOOM」で成果発表，『WebClass』からレポート提出を行う。

<シラバス>

1 後期時間割作成・前期の成績について

事前学修：講義概要をもとに時間割を作成しておくこと。

事後学修：前期の成績を踏まえて後期の目標を立てること。

2 テーマを決めて実際に調べてみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読み調べた内容を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

3 テーマを決めて実際に調べてみよう-発展編-

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

4 レポートを書いてみよう-演習-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：教科書の該当箇所を読みレポートの構成を考えておくこと。

事後学修：演習を振り返り、レポートの校正を行う。

5 調べた内容を発表しよう1

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：レポートをもとに発表準備をすること。

事後学修：提出課題（発表の振り返り、相互評価）を作成すること。

6 調べた内容を発表しよう2

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：レポートをもとに発表準備をすること。

事後学修：提出課題（発表の振り返り、相互評価）を作成すること。

7 議論をしてみよう-ディベートから学ぶ-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

8 議論をしてみよう-議論を振り返る-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

9 経営学科の2年演習コース説明会

事前学修：講義概要を読んで経営学科の3つのコースについて把握しておくこと。

事後学修：コース説明会やシラバスを読んで自分の行きたいコースを選択すること。

10 プレゼンテーションをやってみよう-班の設定とグループワーク-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

11 プレゼンテーションをやってみよう-課題の作成-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

12 プレゼンテーションをやってみよう-課題の作成-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

13 プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：報告に必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

14 プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：報告に必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

15 1年のまとめ

事前学修：後期で行った講義・演習内容を振り返り課題を把握すること。

事後学修：次年度の研究演習2年に向けて必要なスキルを確認しておくこと。

23.予習・復習

予習(2時間程度)：授業資料の該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。

復習(2時間程度)：演習内容の振り返りと整理をし、提出課題を作成すること。

24.注意事項

毎回ノートパソコン、教科書を持参すること。ノートパソコンはメール・レポート・スライド作成の演習やインターネット検索に利用する。そのため、あらかじめインターネットへの接続可能な学内Wi-Fiに接続設定をしておく。

学生の興味関心、演習進度に応じて、演習内容を変更する可能性がある。

フィードバックについては提出課題にコメント等をつけて次の授業で返却する。

25.教材

必要に応じてプリントを配付する。

26.教科書

ISBN	9780000000000
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年，研究演習3年，研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	30
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	15
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	15
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	演習テーマごとのレポート提出	30
成果発表	テーマ設定に基づいたゼミ内プレゼンテーション	40
受講態度	発表を受けての質問や討議などへの積極的な演習参加態度	30
その他		

コード	33409
名称	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-33409)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	33409
4.授業科目	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-33409)
5.単位	2
6.担当教員	吉良 友人
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 演習	
17.授業方法 アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（教室に備付）	
19.接続科目 産業界	
20.授業の概要 本講義は、本学の教育目標の1つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標としています。 具体的には、大学生活や社会で必要な一般的な教養（メールの書き方やレポート・論文の書き方など）修得や会計の簡単な知識を使った財務諸表分析などを行います。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習は、以下のようなことができるようになることが到達目標です。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけること。

具体的には、レポートの作成方法、プレゼンテーション能力、質疑応答力を身につけます。

目標2 簡単な財務諸表分析ができる。

具体的には、貸借対照表や損益計算書の数値を利用して企業比較を行います。

22.授業計画

<講義方法>

この講義は対面授業で行う予定です。

資料は印刷したものを配布します。

ただし、学校閉鎖になった場合などは以下のように対応します。

- ・Zoomにてリアルタイムでオンライン講義を行います。
- ・資料はWebclassでお送りします。
- ・成績評価については対面講義と同様です。

<注意事項>

1. 本演習はグループワークを中心に講義します。積極的にグループワークに参加するようにして下さい。
2. 本演習は今まで会計を学んだことがない学生でも履修可能です。
3. 以下のシラバスは、学生の興味関心などに応じて、講義内容を多少変更する可能性があります。(例：Monopolyを使った簿記や関心のある事柄についてのプレゼンテーションなど)

<シラバス>

1 オリエンテーション（自己紹介及びシラバス確認）

事前学修：講義概要を読んでおくこと。

事後学修：配布されたレジメを読んでおくこと。

2 みんなは何を大切にしているか

事前学修：自分の将来設計をイメージしておくこと。

事後学修：配布されたレジメを完成させる。

3 図書館の利用

事前学修：図書館を事前に訪問しておく。

事後学修：実際に興味のある本を借りて読んでみる。

4 文章の読み方について考える（テキスト第3章）

事前学修：3で借りた本など文章をどのように読んでいるのかを考えておく。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

5 レポートの書き方：説明（テキスト第5章）

事前学修：レポートとは何であり、随筆と何が違うのかを調べてみる。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

6 レポートの書き方：文章の構成を考える（テキスト第5章）

事前学修：自分が文章を書く上でどのようなことに気をつけているのかを考えておくこと。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

7 レポートの書き方：文章をまとめる（テキスト第5章）

事前学修：該当する教科書の章を読んでおくこと。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

8 文献を要約してみる（第3章）

事前学修：該当する教科書の章を読んでおくこと。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

9 PCの利用方法

事前学修：PC教室がどこにあり、利用の際に気をつけることを調べておくこと。

事後学修：PCを利用して興味のある文献を手に入れてみる。

10 ディスカッションをやってみよう：班の設定とグループワーク（テキスト第4章）

事前学修：該当する教科書の章を読んでおくこと。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

11 ディスカッションをやってみよう：ブレインストーミング（テキスト第4章）

事前学修：該当する教科書の章を読んでおくこと。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

12 ディスカッションをやってみよう：プレゼンソフトの利用方法（テキスト第4章）

事前学修：該当する教科書の章を読んでおくこと。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

13 ディスカッションをやってみよう：課題の作成（テキスト第4、5章）

事前学修：課題の下調べをしておくこと。

事後学修：グループで課題に取り組む。

14 ディスカッションをやってみよう：課題の報告（テキスト第4、5章）

事前学修：課題報告の準備。

事後学修：課題報告で足りなかった点を把握しておくこと。

15 前期のまとめ

事前学修：前期で疑問に思ったことをまとめておくこと。

事後学修：後期に向けて前期で理解できなかったことを調べておくこと。

23. 予習・復習

予習時間：2時間程度

次回の講義の理解や進捗がスムーズになるように、書籍やインターネット等を利用して情報を集めておいて下さい。

復習時間：2時間程度

講義で理解できなかった点を整理し疑問を解消するようにして下さい。

24. 注意事項

成績評価方法：成果発表および受講態度（主にグループへの貢献度）により評価します。

各内容のフィードバック：成果発表については、発表後に講評を行います。

教室備付けのPCは、ディスカッションの際の調べものやレポート・プレゼンテーション資料の作成に使用します。

25. 教材

適宜プリントを配布します。

26.教科書

ISBN	9.78488E+12
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

会計学基礎1, 会計学基礎2, 簿記論176, 会計学など会計関連科目

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	10
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	25
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	20
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート		
成果発表	グループワークの成果物としてプレゼンテーションの資料を作成し、それを発表してもらい、その内容を評価します。	50
受講態度	グループワークに積極的に参加しているか、グループにどのように貢献しているかなどから評価します。	50
その他		

コード	33411
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33411)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33411
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33411)
5.単位	2
6.担当教員	吉良 友人
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 演習	
17.授業方法 アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（教室に備付）	
19.接続科目 産業界	
20.授業の概要 本講義は、本学の教育目標の1つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標としています。 具体的には、大学生活や社会で必要な一般的な教養（メールの書き方やレポート・論文の書き方など）修得や会計の簡単な知識を使った財務諸表分析などを行います。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習は、以下のようなことができるようになることが到達目標です。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけること。

具体的には、レポートの作成方法、プレゼンテーション能力、質疑応答力を身につけます。

目標2 簡単な財務諸表分析ができる。

具体的には、貸借対照表や損益計算書の数値を利用して企業比較を行います。

22.授業計画

<講義方法>

この講義は対面授業で行う予定です。

資料は印刷したものを配布します。

ただし、学校閉鎖になった場合などは以下のように対応します。

- ・Zoomにてリアルタイムでオンライン講義を行います。
- ・資料はWebclassでお送りします。
- ・成績評価については対面講義と同様です。

<注意事項>

1. 本演習はグループワークを中心に講義します。積極的にグループワークに参加するようにして下さい。
2. 本演習は今まで会計を学んだことがない学生でも履修可能です。
3. 以下のシラバスは、学生の興味関心などに応じて、講義内容を多少変更する可能性があります。(例：Monopolyを使った簿記や関心のある事柄についてのプレゼンテーションなど)

<シラバス>

1 後期のイントロダクション・会計に触れてみる

事前学修：簿記の基礎知識（簿記論2レベル）の復習をしておくこと。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

2 ボードゲーム（MONOPOLY）で簿記を学ぶ

事前学修：簿記論2の復習を再度しておくこと。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

3 ボードゲーム（MONOPOLY）で簿記を学ぶ

事前学修：簿記論2の復習を再度しておくこと。

事後学修：ボードゲームで学んだ仕訳・転記について復習しておくこと。

4 貸借対照表・損益計算書とは何か

事前学修：貸借対照表・損益計算書の構成要素はどのようなものであったかを把握しておくこと。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

5 財務諸表分析の方法

事前学修：財務諸表を分析したらどのようなメリットがあるのかを考えておくこと。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

6 実際の財務諸表での財務諸表分析

事前学修：財務諸表をどのように入手するのかを考えておくこと。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

7 グループワークの説明

事前学修：前期で実施したグループワークの手法について復習しておくこと。

事後学修：知のツールボックスを読んでおくこと。

8 グループによる産業別財務諸表分析（グループワーク）：産業の決定

事前学修：どのような産業にどのような企業があるのかを調べておくこと。

事後学修：グループで決定した分析対象企業についてより詳しく調べておくこと。

9 グループによる産業別財務諸表分析（グループワーク）：実際の分析

事前学修：分析方法を復習しておくこと。

事後学修：配布レジメ等を読んでおくこと。

10 グループによる産業別財務諸表分析（グループワーク）：資料作成1

事前学修：分析方法を復習しておくこと。

事後学修：講義中に指摘した内容を反映させる。

11 グループによる産業別財務諸表分析（グループワーク）：資料作成2

事前学修：分析方法を復習しておくこと。

事後学修：講義中に指摘した内容を反映させる。

12 グループによる産業別財務諸表分析（グループワーク）：発表会1

事前学修：作成した資料を確認しておくこと。

事後学修：発表した資料を確認しておくこと。

13 グループによる産業別財務諸表分析（グループワーク）：発表会2

事前学修：作成した資料を確認しておくこと。

事後学修：発表した資料を確認しておくこと。

14 グループによる産業別財務諸表分析（グループワーク）：発表会3

事前学修：作成した資料を確認しておくこと。

事後学修：発表した資料を確認しておくこと。

15 2年生に進級するにあたっての心構え

事前学修：グループ報告の講評を受けて疑問に思ったことをまとめておくこと。

事後学修：2年次にむけて何をしたいのかを明確にすること。

23. 予習・復習

予習時間：2時間程度

次回の講義の理解や進捗がスムーズになるように、書籍やインターネット等を利用して情報を集めておいて下さい。

復習時間：2時間程度

講義で理解できなかった点を整理し疑問を解消するようにして下さい。

24. 注意事項

成績評価方法：成果発表および受講態度（主にグループへの貢献度）により評価します。

各内容のフィードバック：成果発表については、発表後に講評を行います。

教室備付けのPCは、ディスカッションの際の調べものやレポート・プレゼンテーション資料の作成に使用します。

25. 教材

適宜プリントを配布します。

26.教科書

ISBN	9.78488E+12
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

会計学基礎1・2、簿記論2・3、会計学などの会計関連科目

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	10
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	25
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	20
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート		
成果発表	グループワークの成果物としてプレゼンテーションの資料を作成し、それを発表してもらい、その内容を評価します。	50
受講態度	グループワークに積極的に参加しているか、グループにどのように貢献しているかなどから評価します。	50
その他		

コード	33286
名称	教養演習Ⅰ (2026-前期-木4-33286)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	33286
4.授業科目	教養演習Ⅰ (2026-前期-木4-33286)
5.単位	2
6.担当教員	蘇 君業
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	■特別ゼミ

12.実務経験

13.実務経験：内容

14.実務経験：授業との関連

15.初年次教育

初年次教育

16.授業形態

演習

17.授業方法

アクティブラーニング：課題解決型
 アクティブラーニング：ディスカッションディベート
 アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク
 アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

スマートフォン

19.接続科目

地域社会
 国際社会
 産業界

20.授業の概要

本講義は、経営学部経営学科の教養科目として、本学の教育目標の1つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標としています。本講義は、指定テキストを使って、学生の発表とディスカッションを中心に進めます。また、本や新聞を読んで、自らレポート作成できるのを目指します。大学で専門性の高い講義の受講や卒業論文作成に求められる基礎力を身につけます。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習の到達目標は下記の通りです。

- 1、大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識や技能を習得します。
- 2、在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。具体的には、モチベーションアップ・レセプションや学生同士、学生と教員との親睦などを通じて学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけます。

22.授業計画

講義方式：原則的には「対面」で行います。学校閉鎖となった場合、オンライン(Zoom)による講義を実施します。講義資料については、webclassを通して共有させていただきます。レポートや課題などの提出はwebclassから直接提出してください。

- 1 本演習は原則としてグループワークを中心に行います。積極的にグループワークに参加するようにしてください。
- 2 下記のシラバスは学生の興味や関心に応じて、演習内容を多少変更する可能性があります。

第1回 授業の概要と計画、自己紹介

- 事前学修：学生便覧を読んで時間割を作成しておくこと。
- 事後学修：時間割について指導された内容を反映させること。

第2回 レポートとは

- 事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.97-103.
- 事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第3回 標準的な形のレポートを書いてみる

- 事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.104-105.
- 事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第4回 引用の概念

- 事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.117.
- 事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第5回 文献を要約して意見を展開する-課題練習

- 事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.118-122.
- 事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第6回 文献を要約して意見を展開する-課題練習

- 事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.118-122.
- 事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第7回 グループワーク-レポート課題説明+扱う問題をまとめる

- 事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.61-64.
- 事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第8回 グループワーク-ディスカッション

- 事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.65-93.
- 事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第9回 グループワーク-図書館で情報収集する

- 事前学修：図書館に行ってみて自分で気になる本を探してみる。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.31-34.
- 事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第10回 グループワーク-ディスカッション+レポートの構成を考える

- 事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.136-147.
- 事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第11回 グループワーク-レポート構成発表会+レポート執筆

- 事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.103-105.
- 事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第12回 最終レポート課題に取り組む-扱う問題をまとめる

- 事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.117-122.
- 事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第13回 最終レポート課題に取り組む-図書館で情報収集する

- 事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.38-39.
- 事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第14回 最終レポート課題に取り組む-レポートの構成を考える

- 事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.43-45.
- 事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第15回 前期総まとめ

事前学修：前期で行った講義内容で苦手な箇所を把握すること。
事後学修：前期の講義を踏まえて苦手だった箇所を復習すること。

23.予習・復習

予習：2時間 講義で与えられた課題の調査や発表の準備
復習：2時間 各回の内容の整理

24.注意事項

成績評価方法：レポート(50%)、成果発表(30%)、受講態度(10%)及びその他(10%) 各回で提出されたレポートやプレゼンテーションは、その場ないし次回講義においてコメント等を行います。毎回、webclassで出席登録を行うので、スマートフォンを持参すること。

25.教材

26.教科書

ISBN	4881253883
書名	改訂版 『新・知のツールボックス』
著者	専修大学出版企画委員会 編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2、研究演習3年、研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	15
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	15
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	15
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	15
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	20
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	5
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	レポートの内容にて評価します	50
成果発表	発表の内容にて評価します	30
受講態度	積極的に発言すること 質問に対してよく答えてくれること	10
その他	レポートの提出期間を守ること 授業時間を守ること	10

コード	33287
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33287)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33287
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33287)
5.単位	2
6.担当教員	蘇 君業
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	■特別ゼミ

12.実務経験

13.実務経験：内容

14.実務経験：授業との関連

15.初年次教育

初年次教育

16.授業形態

演習

17.授業方法

アクティブラーニング：課題解決型
 アクティブラーニング：ディスカッションディベート
 アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク
 アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

スマートフォン

19.接続科目

地域社会
 国際社会
 産業界

20.授業の概要

本講義は、経営学部経営学科の教養科目として、本学の教育目標の1つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標としています。本講義は、指定テキストを使って、学生の発表とディスカッションを中心に進めます。また、本や新聞を読んで、自らレポート作成できるのを目指します。大学で専門性の高い講義の受講や卒業論文作成に求められる基礎力を身につけます。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習の到達目標は下記の通りです。

- 1、大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。具体的にはノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識や技能を習得します。
- 2、在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができます。具体的には、モチベーションアップ・レセプションや学生同士、学生と教員との親睦などを通じて学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけます。

22.授業計画

講義方式：原則的には「対面」で行います。学校閉鎖となった場合、オンライン(Zoom)による講義を実施します。

講義資料については、webclassを通して共有させていただきます。レポートや課題などの提出はwebclassから直接提出してください。

<注意事項>

- 1 本演習は原則としてグループワークを中心に行います。積極的にグループワークに参加するようにしてください。
- 2 以下のシラバスは学生の興味や関心に応じて、演習内容を多少変更する可能性があります。

<シラバス>

第1回 後期時間割作成・前期の成績について

事前学修：講義概要をもとに時間割を作成しておくこと。

事後学修：前期の成績を踏まえて後期の目標を立てること。

第2回 簡単なプレゼンテーション（1）2分間スピーチのテーマ設定（グループワーク）

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.125-128.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第3回 簡単なプレゼンテーション（2）

テーマ：「大学生活を有益に過ごすために必要な力とそれを支える機会・場所・TOOLについて」

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.128-129.

第4回 基本的なプレゼンテーション（1）プレゼンテーションの準備

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.130-132.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第5回 基本的なプレゼンテーション（2）主題を決める

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.132-136.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第6回 基本的なプレゼンテーション（3）構成について考える

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.147-152.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第7回 基本的なプレゼンテーション（4）調査する

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）p.45.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第8回 ドキュメントを使ったプレゼンテーション（1）

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.147-152.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第9回 ドキュメントを使ったプレゼンテーション（2）

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.147-152.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第10回 グループプレゼンテーション（1）プレゼンテーションの練習、修正

事前学修：報告に必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

第11回 グループプレゼンテーション（2）プレゼンテーションの練習、修正

事前学修：報告に必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

第12回 グループプレゼンテーション（3）プレゼンテーションの練習、修正

事前学修：報告に必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

第13回 グループプレゼンテーション（4）プレゼンテーションの練習、修正

事前学修：報告に必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

第14回 グループプレゼンテーション（5）プレゼンテーションの練習、修正

事前学修：報告に必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

第15回 後期総括

事前学修：後期で行った講義内容で苦手な箇所を把握すること。

事後学修：次年度の研究演習2年に向けて必要なスキルを確認しておくこと。

23.予習・復習

予習：2時間 講義で与えられた課題の調査や発表の準備

復習：2時間 各回の内容の整理

24.注意事項

成績評価方法：レポート(50%)、成果発表(30%)、受講態度(10%)及びその他(10%) 各回で提出されたレポートやプレゼンテーションは、その場ないし次回講義においてコメント等を行います。毎回、webclassで出席登録を行うので、スマートフォンを持参すること。

25.教材

26.教科書

27.参考書

ISBN	48815883
書名	改訂版 『新・知のツールボックス』
著者	専修大学出版企画委員会・編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

28.授業関連科目

研究演習2、研究演習3年、研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	15
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	15
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	15
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	15
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	20
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	5
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	レポートの内容にて評価します	50
成果発表	発表の内容にて評価します	30
受講態度	積極的に発言すること、質問に対してよく答えてくれること	10
その他	レポートの提出期間を守ること 授業時間を守ること	10

コード	32505
名称	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-32505)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	32505
4.授業科目	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-32505)
5.単位	2
6.担当教員	陳 惠貞
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	■特別ゼミ

12.実務経験

13.実務経験：内容

14.実務経験：授業との関連

15.初年次教育

16.授業形態

演習

17.授業方法

アクティブラーニング：課題解決型
 アクティブラーニング：ディスカッションディベート
 アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク
 アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

スマートフォン

19.接続科目

20.授業の概要

本講義は、経営学部経営学科の教養科目として、本学の教育目標の1つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標としています。

本講義は、指定テキストを使って、学生の発表とディスカッションを中心に進めます。また、本や新聞を読んで、自らレポート作成を目指します。将来、卒業論文作成に求められる基礎力を身につけます。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習の到達目標は下記の通りです。

- 1、大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を習得します。
- 2、在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。具体的には、モチベーションアップ・レセプションや学生同士、学生と教員との親睦等を通じて学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけます。

22.授業計画

講義方式：

原則的には「対面」で行います。

- ・学校閉鎖となった場合、オンライン(Zoom)による講義を実施します。
 - ・講義資料については、webclassを通して共有させていただきます。
- レポートや課題などの提出はwebclassから直接提出してください。

<注意事項>

- 1 本演習は原則としてグループワークを中心に行います。積極的にグループワークに参加するようにしてください。
- 2 以下のシラバスは学生の興味関心に応じて、演習内容を多少変更する可能性があります。

<シラバス>

第1回 授業の概要と計画、自己紹介

事前学修：学生便覧を読んで時間割を作成しておくこと。

事後学修：時間割について指導された内容を反映させること。

第2回 レポートとは

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.97-103.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第3回 標準的な形のレポートを書いてみる

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.104-105.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第4回 引用の概念

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.117.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第5回 文献を要約して意見を展開する- 課題練習

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.118-122.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第6回 文献を要約して意見を展開する- 課題練習

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.118-122.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第7回 グループワーク-レポート課題説明+扱う問題をまとめる

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.61-64.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第8回 グループワーク-ディスカッション

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.65-93.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第9回 グループワーク-図書館で情報収集する

事前学修：図書館に行ってみて自分で気になる本を探してみる。

専修大学出版企画委員会編（2024） pp.31-34.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第10回 グループワーク-ディスカッション+レポートの構成を考える

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024） pp.136-147.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第11回 グループワーク-レポート構成発表会+レポート執筆

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024） pp.103-105.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第12回 最終レポート課題に取り組む-扱う問題をまとめる

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024） pp.117-122.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第13回 最終レポート課題に取り組む-図書館で情報収集する

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024） pp.38-39.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第14回 最終レポート課題に取り組む-レポートの構成を考える

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024） pp.43-45.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第15回 前期総括

事前学修：前期で行った講義内容で苦手な箇所を把握すること。

事後学修：前期の講義を踏まえて苦手だった箇所を復習すること。

23.予習・復習

予習：2時間 講義で与えられた課題の調査や発表の準備

復習：2時間 各回の内容の整理

24.注意事項

成績評価方法：レポート(50%)、成果発表(30%)、受講態度(10%)及びその他(10%)

各回で提出されたレポートやプレゼンテーションは、その場ないし次回講義においてコメント等を行います。

毎回、webclassで出席登録を行うので、スマートフォンを持参すること。

25.教材

26.教科書

ISBN	4881253883
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年，3年及び4年

29.授業関連資格**30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）**

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	15
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	15
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	15
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	15
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	20
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	5
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	レポートの内容にて評価します	50
成果発表	発表の内容にて評価します	30
受講態度	積極的に発言すること 質問に対してよく答えてくれること	10
その他	レポートの提出期間を守ること 授業時間を守ること	10

コード	32096
名称	教養演習Ⅱ(2026-後期-木4)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	32096
4.授業科目	教養演習Ⅱ(2026-後期-木4)
5.単位	2
6.担当教員	陳 惠貞
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	■特別ゼミ

12.実務経験

13.実務経験：内容

14.実務経験：授業との関連

15.初年次教育

初年次教育

16.授業形態

演習

17.授業方法

受動型

アクティブラーニング：ディスカッションディベート

アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク

アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

スマートフォン

19.接続科目

大学院進学

20.授業の概要

本講義は、経営学部経営学科の教養科目として、本学の教育目標の1つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標としています。

本講義は、指定テキストを使って、学生の発表とディスカッションを中心に進めます。また、本や新聞を読んで、自らレポート作成を目指します。将来、卒業論文作成に求められる基礎力を身につけます。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習の到達目標は下記の通りです。

- 1、大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を習得します。
- 2、在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。具体的には、モチベーションアップ・レセプションや学生同士、学生と教員との親睦等を通じて学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけます。

22.授業計画

講義方式：

原則的には「対面」で行います。

- ・学校閉鎖となった場合、オンライン(Zoom)による講義を実施します。
 - ・講義資料については、WebClassを通して共有させていただきます。
- レポートや課題などの提出はWebClassから直接返信してください。

<注意事項>

- 1 本演習は原則としてグループワークを中心に行います。積極的にグループワークに参加するようにしてください。
- 2 以下のシラバスは学生の興味関心に応じて、演習内容を多少変更する可能性があります。

<シラバス>

第1回 後期時間割作成・前期の成績について

事前学修：講義概要をもとに時間割を作成しておくこと。

事後学修：前期の成績を踏まえて後期の目標を立てること。

第2回 簡単なプレゼンテーション（1）2分間スピーチのテーマ設定（グループワーク）

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.125-128.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第3回 簡単なプレゼンテーション（2）テーマ：「大学生活を有益に過ごすために必要な力とそれを支える機会・場所・TOOLについて」

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.128-129.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第4回 基本的なプレゼンテーション（1）プレゼンテーションの準備

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.130-132.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第5回 基本的なプレゼンテーション（2）主題を決める

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.132-136.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第6回 基本的なプレゼンテーション（3）構成について考える

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.147-152.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第7回 基本的なプレゼンテーション（4）調査する

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）p.45.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第8回 ドキュメントを使ったプレゼンテーション（1）

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.147-152.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第9回 ドキュメントを使ったプレゼンテーション（2）

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。専修大学出版企画委員会編（2024）pp.147-152.

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

第10回 グループプレゼンテーション（1）プレゼンテーションの練習、修正

事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

第11回 グループプレゼンテーション（2）プレゼンテーションの練習、修正

事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

第12回 グループプレゼンテーション（3）プレゼンテーションの練習、修正

事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

第13回 グループプレゼンテーション（4）プレゼンテーションの練習、修正

事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

第14回 グループプレゼンテーション（5）プレゼンテーションの練習、修正

事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

第15回 後期総括

事前学修：後期で行った講義内容で苦手な箇所を把握すること。

事後学修：次年度の研究演習2年に向けて必要なスキルを確認しておくこと。

23.予習・復習

予習：2時間 講義で与えられた課題の調査や発表の準備

復習：2時間 各回の内容の整理

24.注意事項

成績評価方法：レポート(50%)，成果発表(30%)，受講態度(10%)及びその他(10%)

各回で提出されたレポートやプレゼンテーションは，その場ないし次回講義においてコメント等を行います。

毎回、webclassで出席登録を行うので、スマートフォンを持参すること。

25.教材

26.教科書

ISBN	4881253883
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2、研究演習3年、研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	15
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	15
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	15
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	15
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	20
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	5
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	レポートの内容にて評価します	50
成果発表	発表の内容にて評価します	30
受講態度	積極的に発言すること、質問に対してよく答えてくれること	10
その他	レポートの提出期間を守ること 授業時間を守ること	10

コード	33383
名称	教養演習Ⅰ (2026-前期-木4-33383)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	33383
4.授業科目	教養演習Ⅰ (2026-前期-木4-33383)
5.単位	2
6.担当教員	手嶋 竜二
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	

12.実務経験

有り

13.実務経験：内容

私はフィットネス・クラブを創業し、店舗の立ち上げから運営までを経験してきた。そこでは、サービス内容を考え、会員の声を聞き、必要なお金や設備、人の配置を考えながら、日々判断を重ねてきた。実務の現場では、物事を順序立てて考えることや、数字や事実をもとに状況を整理する姿勢が重要であることを学んだ。こうした経験は、大学生活や将来を考えるうえでも役立つ視点であると考えている。

14.実務経験：授業との関連

フィットネス・クラブの運営経験を通じて、目的を整理し、情報を集め、考えをまとめて伝える力の重要性を学んできた。教養演習では、この経験を踏まえ、大学で必要となるアカデミック・スキルを身につけることを目指す。具体的には、資料の読み方、レポートの書き方、意見の整理や発表の仕方などを扱い、大学生活を主体的に進めるための基礎力を養う。実体験を交えながら、学び方そのものを分かりやすく伝えていく。

15.初年次教育

初年次教育

16.授業形態

演習

17.授業方法

受動型

アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク

アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

PC・タブレット（学生自身が準備）

スマートフォン

19.接続科目

地域社会

20.授業の概要

経営学部経営学科の教養科目として、本学の教育目標の1つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標としています。教科書に沿ってノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を学びます。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を身につけます。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。具体的には、モチベーションアップ・レセプションや学生同士、学生と教員との親睦等を通じて学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけます。

目標3 健康を維持・増進するための能力を身に付けることができる。具体的には、基礎的な教養としての健康づくりの三要素(運動、栄養、休養)について理解を深め、生涯にわたって健康づくりを考えられる力を身に付けます。

22.授業計画

<講義方法> この講義は原則、対面講義で行います。対面、オンラインに係わらずwebclass等にて講義後レポートの回収を行う。オンラインの場合、ZOOMもしくはYouTubeで行います。

<注意事項> ・新型コロナウイルス感染状況等により、対面とオンラインの併用や、オンラインのみに変更になる可能性があります。 ・以下のシラバスは学生の興味関心に応じて、講義内容を多少変更する可能性があります。

<シラバス>

1 時間割作成・検印・自己（他己）紹介

事前学修：学生便覧を読んで時間割を作成しておくこと。

事後学修：時間割について指導された内容を反映させること。

2 高校の授業と大学の講義の違いはどこにあるのか 教科書：「新・知のツールボックス」プロローグ

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

3 ノートの取り方を理解しよう 教科書：「新・知のツールボックス」第1章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

4 マインドマップを作ってみよう 教科書：「新・知のツールボックス」第1章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：マインドマップを見て自分の考えを再整理する。

5 色々な大学の教員と接してみよう？モチベーションアップ・レセプション？

事前学修：在学中にやりたいことや将来の目標について考えてみること。

事後学修：自分の目標を達成するためにはどうすれば良いのかを再度考えてみる。

6 図書館で調べ物をしてみよう 教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：図書館に行ってみて自分で気になる本を探してみる。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

7 メディア・リテラシーとは何か 教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

8 テーマを決めて実際に調べてみよう-導入編- 教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

9 テーマを決めて実際に調べてみよう-発展編- 教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

10 テーマを決めて実際に調べてみよう-まとめ- 教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

11 文章を読んでみよう-導入編- 教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

12 文章を読んでみよう-作者の主張していることの把握- 教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

13 文章を読んでみよう-パラグラフを見分ける- 教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

14 文章を読んでみよう-まとめ- 教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

15 前期のまとめ

事前学修：前期で行った講義内容で苦手な箇所を把握すること。
事後学修：前期の講義を踏まえて苦手だった箇所を復習すること。

23.予習・復習

予習：3時間 講義で与えられた課題の調査や発表の準備
復習：1時間 各回の内容の整理

24.注意事項

出席：WebClassから各自で、ノートパソコン、あるいはスマホ等を使用して登録する。
授業内の課題・プレゼンテーションなどは適宜コメントを入れてフィードバックします。
オフィス・アワー（授業時間以外で、学生の質問・相談等に対応できる研究室在籍時間帯：木曜日2限）

25.教材

26.教科書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年，3年及び4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	25
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	10
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	10

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	講義時間に出たテーマについて調べ、レポートを提出する	30
成果発表	ディスカッションディベート、プレゼンテーション	20
受講態度	授業への主体性、協調性、規律性	50
その他		

コード	33384
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33384)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33384
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33384)
5.単位	2
6.担当教員	手嶋 竜二
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	■特別ゼミ

12.実務経験

有り

13.実務経験：内容

私はフィットネス・クラブを創業し、店舗の立ち上げから運営までを経験してきた。そこでは、サービス内容を考え、会員の声を聞き、必要なお金や設備、人の配置を考えながら、日々判断を重ねてきた。実務の現場では、物事を順序立てて考えることや、数字や事実をもとに状況を整理する姿勢が重要であることを学んだ。こうした経験は、大学生活や将来を考えるうえでも役立つ視点であると考えている。

14.実務経験：授業との関連

フィットネス・クラブの運営経験を通じて、目的を整理し、情報を集め、考えをまとめて伝える力の重要性を学んできた。教養演習では、この経験を踏まえ、大学で必要となるアカデミックスキルを身につけることを目指す。具体的には、資料の読み方、レポートの書き方、意見の整理や発表の仕方などを扱い、大学生活を主体的に進めるための基礎力を養う。実体験を交えながら、学び方そのものを分かりやすく伝えていく。

15.初年次教育

初年次教育

16.授業形態

演習

17.授業方法

受動型

アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク

アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

PC・タブレット（学生自身が準備）

スマートフォン

19.接続科目

地域社会

20.授業の概要

経営学部経営学科の教養科目として、本学の教育目標の1つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標としています。教科書に沿ってノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を学びます。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。

具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を身につけます。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。

具体的には、モチベーションアップ・レセプションや学生同士、学生と教員との親睦等を通じて学生生活で必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけます。

目標3 健康を維持・増進するための能力を身に付けることができる。

具体的には、基礎的な教養としての健康づくりの三要素(運動、栄養、休養)について理解を深め、生涯にわたって健康づくりを考えられる力を身に付けます。

22.授業計画

<講義方法> この講義は原則、対面講義で行います。対面、オンラインに係わらずwebclass等にて講義後レポートの回収を行う。オンラインの場合、ZOOMもしくはYouTubeで行います。

<注意事項> ・新型コロナウイルス感染状況等により、対面とオンラインの併用や、オンラインのみに変更になる可能性があります。 ・以下のシラバスは学生の興味関心に応じて、講義内容を多少変更する可能性があります。

<シラバス>

1 後期時間割作成・前期の成績について

事前学修：講義概要をもとに時間割を作成しておくこと。

事後学修：前期の成績を踏まえて後期の目標を立てること。

2 議論をしてみよう-導入編- 教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

3 議論をしてみよう-実際の議論を体験してみる- 教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

4 議論をしてみよう-議論を振り返ってみよう- 教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

5 レポートを書いてみよう-導入編- 教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

6 レポートを書いてみよう-レポートを書く手順を知ろう- 教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

7 レポートを書いてみよう-正確な文章を書くために必要なことは- 教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

8 経営学科の2年演習コース説明会

事前学修：講義概要を読んで経営学科の3つのコースについて把握しておくこと。

事後学修：コース説明会やシラバスを読んで自分の行きたいコースを選択すること。

9 プレゼンテーションをやってみよう-導入編- 教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

10 プレゼンテーションをやってみよう-班の設定とグループワーク- 教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

11 プレゼンテーションをやってみよう-課題の作成- 教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

12 プレゼンテーションをやってみよう-課題の作成- 教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

13 プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告- 教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

14 プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告- 教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

15 後期のまとめ

事前学修：後期で行った講義内容で苦手な箇所を把握すること。

事後学修：次年度の研究演習2年に向けて必要なスキルを確認しておくこと。

23.予習・復習

予習：3時間 講義で与えられた課題の調査や発表の準備

復習：1時間 各回の内容の整理

24.注意事項

出席：WebClassから各自で、ノートパソコン、あるいはスマホ等を使用して登録する。授業内の課題・プレゼンテーションなどは適宜コメントを入れてフィードバックします。オフィス・アワー（授業時間以外で、学生の質問・相談等に対応できる研究室在籍時間帯：木曜日2限）

25.教材

26.教科書

27.参考書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

28.授業関連科目

研究演習2年、3年及び4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	25
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	10
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	10

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	講義時間に出たテーマについて調べ、レポートを提出すること	30
成果発表	ディスカッションディベート、プレゼンテーション	20
受講態度	授業への主体性、協調性、規律性	50
その他		

コード	33476
名称	教養演習Ⅰ (2026-前期-木4-33476)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	33476
4.授業科目	教養演習Ⅰ (2026-前期-木4-33476)
5.単位	2
6.担当教員	豊福 尚男
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 演習 実習・実技	
17.授業方法 アクティブラーニング：ディスカッションディベート アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（学生自身が準備）	
19.接続科目	
20.授業の概要 少人数クラスで、自分が考え、積極的にお互いの意見を交換しながら表現力やコミュニケーション能力を高めていく。また、その演習の中で、大学生として求められる基礎力、基本的な知識とスキルを身につける。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

目標1 大学生として必要な基礎的なスキルを身につけることができる。

具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基礎的知識を身につけることができる。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。

具体的には、経済学科行事や学生同士、学生と教員との親睦等を通じてつきあいを円滑にする人間関係、コミュニティ活動に関連する大学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけることができる。

22.授業計画

<講義方法>

授業は、対面授業で行います。対面時においてもWeb Classで資料配付やレポート提出について連絡しますので、必ず確認してください。また、新型コロナウイルス感染状況等により、学校閉鎖になるなど対面授業が行えない場合は、Zoomを使用したオンライン授業を行います。その場合は講義前日までに具体的な指示をWeb Classで連絡事項を送信するので確認してください。

本演習は、対面授業で行います。レポート提出やグループ活動、プレゼンテーションなどの活動による授業形態です。

<シラバス>

- 1 時間割作成、仲間づくり。(自己・他己紹介)
事前学習：学生便覧を読んで時間割を作成しておくこと。
事前学習：時間割について指導された内容を反映させること。
- 2 目標探し、グループ活動、ゼミ内組織づくり。
教科書：「新・知のツールボックス」プロローグ ++pp.1-11
事前学習：大学生としてこれからやりたいことリストを考えておく。
事後学習：提出課題を作成すること。
- 3 高校の授業と大学の講義の違いはどこにあるのか。
教科書：「新・知のツールボックス」第1章 ++pp.14-28
事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。
事後学習：提出課題を作成すること。
- 4 学びの攻略法、授業の聴き方、ノートの取り方を学ぶ。
教科書：「新・知のツールボックス」第1章 ++pp.14-28
事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。
事後学習：提出課題を作成すること。
- 5 メディア・リテラシーを学ぶ。
教科書：「新・知のツールボックス」第2章 ++pp.30-48
事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。
事後学習：提出課題を作成すること。
- 6 図書館の使い方を学ぶ。
教科書：「新・知のツールボックス」第2章 ++pp.30-48
事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。
事後学習：提出課題を作成すること。
- 7 ネットのコミュニケーションを活用する。
教科書：「新・知のツールボックス」第2章 ++pp.30-48
事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。
事後学習：提出課題を作成すること。
- 8 モチベーションアップレセプション。(経営学科行事)
事前学習：在学中にやりたいことや将来の目標について考えてみる。
事後学習：自分の目標を達成するためにはどうすれば良いかを再度考えてみる。
- 9 文章を読んでみよう。
教科書：「新・知のツールボックス」第3章 ++pp.49-60
事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。
事後学習：提出課題を作成すること。
- 10 グループ協議-ゼミ内活動について-
教科書：「新・知のツールボックス」第4章 ++pp.61-95
事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。
事後学習：提出課題を作成すること。
- 11 グループ協議-人間関係づくりについて-
教科書：「新・知のツールボックス」第4章 ++pp.61-95
事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学習：提出課題を作成すること。

12 レポートを書いてみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章 ++pp97-124

事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学習：提出課題を作成すること。

13 レポートを書いてみよう-レポートを書く手順を知る-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章 ++pp97-124

事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学習：提出課題を作成すること。

14 プレゼンテーションについて学習しよう。

教科書：「新・知のツールボックス」第6章 ++pp.125-153

事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学習：提出課題を作成すること。

15 前期のまとめ

事前学習：前期で行った講義・演習内容を振り返り自己課題を把握すること。

事後学習：前期の振り返りをふまえて、後期に向けた準備をすること。

23.予習・復習

予習(2時間程度)：授業資料の該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。

復習(2時間程度)：演習内容の振り返りと整理をし、提出課題を作成すること。

24.注意事項

毎回ノートパソコン、教科書を持参すること。ノートパソコンはメール・レポート・スライド作成の演習やインターネット検索に利用する。そのため、あらかじめインターネットへの接続可能な学内Wi-Fiに接続設定をしておく。

学生の興味関心、演習進度に応じて、演習内容を変更する可能性がある。

フィードバックについては提出課題にコメント等をつけて次の授業で返却する。

25.教材

必要に応じてプリントを配布する。

26.教科書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年、研究演習3年、研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	30
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	15
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	15
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	演習テーマごとのレポート提出	30
成果発表	テーマ設定に基づいた講義内プレゼンテーション	40
受講態度	発表を受けての質問や討議などへの積極的な演習参加態度	30
その他		

コード	33477
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33477)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33477
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33477)
5.単位	2
6.担当教員	豊福 尚男
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 演習 実習・実技	
17.授業方法 受動型 アクティブラーニング：ディスカッションディベート アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（学生自身が準備）	
19.接続科目	
20.授業の概要 少人数クラスで、自分が考え、積極的にお互いの意見を交換しながら表現力やコミュニケーション能力を高めていく。また、その演習の中で、大学生として求められる基礎力、基本的な知識とスキルを身につける。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

目標1 大学生として必要な基礎的なスキルを身につけることができる。

具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基礎的知識を身につけることができる。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。

具体的には、経済学科行事や学生同士、学生と教員との親睦等を通じてつきあいを円滑にする人間関係、コミュニティ活動に関連する大学生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけることができる。

22.授業計画

<講義方法>

授業は、対面授業で行います。対面時においてもWeb Classで資料配付やレポート提出について連絡しますので、必ず確認してください。また、新型コロナウイルス感染状況等により、学校閉鎖になるなど対面授業が行えない場合は、Zoomを使用したオンライン授業を行います。その場合は講義前日までに具体的な指示をWeb Classで連絡事項を送信するので確認してください。

本演習は、対面授業で行います。レポート提出やグループ活動、プレゼンテーションなどの活動による授業形態です。

<シラバス>

1 後期時間割作成・前期の成績について

事前学習：講義概要をもとに時間割を作成しておくこと。

事前学習：前期の成績を踏まえて後期の目標を立てること。

2 テーマを決めて実際に調べてみようー導入編ー

教科書：「新・知のツールボックス」第2章 ++pp.30-48

事前学習：教科書の該当箇所を読み、調べた内容を整理しておく。

事後学習：提出課題を作成すること。

3 テーマを決めて実際に調べてみようー発展編ー

教科書：「新・知のツールボックス」第2章 ++pp.30-48

事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学習：提出課題を作成すること。

4 レポートを書いてみようー演習ー

教科書：「新・知のツールボックス」第5章 ++pp97-124

事前学習：教科書の該当箇所を読みレポートの構成を考えておくこと。

事後学習：演習を振り返り、レポートの構成を行う。

5 調べた内容を発表しよう

教科書：「新・知のツールボックス」第6章 ++pp.125-153

事前学習：レポートをもとに発表準備をすること。

事後学習：提出課題（発表の振り返り、相互評価）を作成すること。

6 調べた内容を発表しよう2

教科書：「新・知のツールボックス」第6章 ++pp.125-153

事前学習：レポートをもとに発表準備をすること。

事後学習：提出課題（発表の振り返り、相互評価）を作成すること。

7 議論をしてみよう-ディベートから学ぶ-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章 ++pp.61-95

事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学習：提出課題を作成すること。

8 議論をしてみよう-議論を振り返る-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章 ++pp.61-95

事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学習：提出課題を作成すること。

9 経営学科の2年演習コース説明会

事前学習：講義概要を読んで経営学科の3つのコースについて把握しておくこと。

事後学習：コース説明会やシラバスを読んで自分で行きたいコースを選択すること。

10 プレゼンテーションをしてみよう-班の設定とグループワーク-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章 ++pp.125-153

事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学習：提出課題を作成すること。

11 プレゼンテーションをしてみよう-課題の作成-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章 ++pp.125-153

事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学習：提出課題を作成すること。

12 プレゼンテーションをやってみよう-課題の作成-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章 ++pp.125-153

事前学習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学習：提出課題を作成すること。

13 プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章 ++pp.125-153

事前学習：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておく。

事後学習：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておく。

14 プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章 ++pp.125-153

事前学習：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておく。

事後学習：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておく。

15 1年のまとめ

事前学習：後期で行った講義・演習内容を振り返り自己課題を把握すること。

事後学習：次年度の研究演習2年に向けて必要なスキルを確認しておくこと。

23.予習・復習

予習(2時間程度)：授業資料の該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。

復習(2時間程度)：演習内容の振り返りと整理をし、提出課題を作成すること。

24.注意事項

毎回ノートパソコン、教科書を持参すること。ノートパソコンはメール・レポート・スライド作成の演習やインターネット検索に利用する。そのため、あらかじめインターネットへの接続可能な学内Wi-Fiに接続設定をしておく。

学生の興味関心、演習進度に応じて、演習内容を変更する可能性がある。

フィードバックについては提出課題にコメント等をつけて次の授業で返却する。

25.教材

必要に応じてプリントを配布する。

26.教科書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編
出版社	専修大学出版局

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年、研究演習3年、研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	30
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	15
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	15
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	演習テーマごとのレポート提出	30
成果発表	テーマ設定に基づいたゼミ内プレゼンテーション	40
受講態度	発表を受けての質問や討議などへの積極的な演習参加態度	30
その他		

コード	30312
名称	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-30312)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	30312
4.授業科目	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-30312)
5.単位	2
6.担当教員	中原 敬介
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	

12.実務経験

13.実務経験：内容

14.実務経験：授業との関連

15.初年次教育

初年次教育

16.授業形態

演習

17.授業方法

受動型

18.受講生のPC等使用

19.接続科目

20.授業の概要

この科目は経営学部経営学科の教養科目として、本学の教育目標の一つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標にしています。同時に、専門科目を学ぶ際に必要な読み書きの力を、演習を通して養います。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に「21. 到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30. 育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法，学習目標（比率）等を記載する。

本演習の到達目標は以下の通り：

1. 大学生として必要な基本的スキルを身につける。
2. 講義中に適切にノートを取れる。
3. 自分で能率的に資料収集ができる。
4. 大学生らしいレポートを書ける。
5. 将来社会で活躍できるためのソーシャル・スキルを身につける。

22.授業計画

本演習は対面講義で行います。

対面時でも、レポート回収はWebClassを使います。

本学が閉鎖された場合には、オンライン講義（WebClass+ZOOM）を行います。

連絡事項は、前日までにWebClassを経由して伝達します。

1 履修登録確認 自己紹介 教科書：プロローグ

事前学修：受講科目のシラバスを読んで置くこと

事後学修：時間割を完成させ、講義開始に備える

2 履修確認書配布 「学生自己申告」記入 教科書：プロローグ

事前学修：高校時代に取得した資格等を整理しておく

事後学修：履修確認書の修正手続きをし、完成させる

3 履修確認書提出 「学修の目的・計画・姿勢」記入 教科書：プロローグ

事前学修：今までの自分を見つめ直し、今後の目標を立てる

事後学修：「学修の目的・計画・姿勢」を完成させる

4 高校の授業と大学の講義の違いはどこにあるのか（1） 教科書：プロローグ

事前学修：与えられた課題

事後学修：講義内容の復習

5 高校の授業と大学の講義の違いはどこにあるのか（2） 教科書：プロローグ

事前学修：与えられた課題

事後学修：講義内容の復習

6モチベーションアップ・レセプション 教科書：第3章

事前学修：与えられた課題

事後学修：講義内容の復習

7正しい日本語（ら抜き言葉、れ不足言葉）教科書：第3章

事前学修：与えられた課題

事後学修：講義内容の復習

8正しい日本語（ねじれ文）教科書：第3章

事前学修：与えられた課題

事後学修：講義内容の復習

9正しい日本語（語彙）教科書：第3章

事前学修：与えられた課題

事後学修：講義内容の復習

10要約する1 教科書：第3章

事前学修：与えられた課題

事後学修：講義内容の復習

11要約する2 教科書：第3章

事前学修：与えられた課題

事後学修：講義内容の復習

12高卒の仕事と大卒の仕事は何が違うのか？

事前学修：与えられた課題

事後学修：講義内容の復習

13企業はエントリーシートで何を求めているのか？

事前学修：与えられた課題

事後学修：講義内容の復習

14残りの大学生活で、何を目標とすればよいのか？

事前学修：与えられた課題

事後学修：講義内容の復習

15前期のまとめ

事前学修：前期の内容で苦手な箇所を把握すること。

事後学修：苦手分野を復習すること。

以上はあくまで予定です，状況に応じて随時変更します。

年間を通して「文章を読む」「議論する」「レポートを書く」を指導します。

教学行事と並行して，学問修得に向けた動機付け等の取組を行います。

学生生活における時間管理を指導します。

23. 予習・復習

予習：3時間 講義で与えられた課題の調査や発表の準備

復習：1時間 各回の内容の整理

24. 注意事項

各回で提出されたレポートやプレゼンテーションは，その場ないし次回講義においてコメント等を行います。

PCは，教室では使用しないが，レポート作成のためにも早めに購入しておくことが望ましい。

25. 教材

プリントを配布する。

26. 教科書

ISBN	9780000000000
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27. 参考書

28. 授業関連科目

研究演習2年，3年及び4年

29. 授業関連資格

30. 育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	10
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	35
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト	語彙・表現・要約等の課題	10
レポート	与えられた指示・条件に応じたレポートの作成	50
成果発表	資料を用いた口頭発表	30
受講態度	演習への積極的な参加	10
その他		

コード	33068
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33068)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33068
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33068)
5.単位	2
6.担当教員	中原 敬介
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	

12.実務経験

13.実務経験：内容

14.実務経験：授業との関連

15.初年次教育

初年次教育

16.授業形態

演習

17.授業方法

受動型

18.受講生のPC等使用

19.接続科目

20.授業の概要

この科目は経営学部経営学科の教養科目として、本学の教育目標の一つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標にしています。同時に、専門科目を学ぶ際に必要な読み書きの力を、演習を通して養います。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に「21. 到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30. 育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法，学習目標（比率）等を記載する。本演習の到達目標は以下の通り：

1. 大学生として必要な基本的スキルを身につける。
2. 講義中に適切にノートを取れる。
3. 自分で能率的に資料収集ができる。
4. 大学生らしいレポートを書ける。
5. 将来社会で活躍できるためのソーシャル・スキルを身につける。

22.授業計画

本演習は対面講義で行います。対面時でも、レポート回収はWebClassを使います。本学が閉鎖された場合には、オンライン講義（WebClass+ZOOM）を行います。連絡事項は、前日までにWebClassを経由して伝達します。

1 後期に向けて 教科書：第3章

事前学修：締め切りまでに後期の時間割を完成させること。

事後学修：前期の成績をふまえて後期の目標を立てること。

2 図書館の使い方を学ぶ 教科書：第2章

事前学修：付属図書館に行ってみる

事後学修：講義内容の復習

3 図書館で本や資料を探す 教科書：第2章

事前学修：OPACを使ってみる

事後学修：講義内容の復習

4モチベーションアップ・レセプション

事前学修：与えられた課題

事後学修：講義内容の復習

5 紹介したい本を選ぶ 教科書：第2章

事前学修：紹介したい本を用意する

事後学修：紹介したい本を申告する

6 魅力的な書評とは？ 教科書：第5章

事前学修：書評例のどこが効果的なのか考えておく

事後学修：自分に使えるようなテクニックを選ぶ

7 書評の口頭発表 教科書：第6章

事前学修：スピーチ原稿の用意

事後学修：他の人が書いた評価を読んで反省する

8 書評を書く 教科書：第5章

事前学修：話し言葉と書き言葉の違いに意識しながら書評を書く

事後学修：他の人が書いた書評を読んで反省する

9 書評を評価する 教科書：第4章

事前学修：他の人が書いた書評を読んで長所短所を見つける

事後学修：他の人が書いた書評に対してコメントを書く

10 課題文を読む 教科書：第3章

事前学修：与えられた課題

事後学修：講義内容の復習

11 課題文に関して調査する 教科書：第2章

事前学修：調査すべきことが何なのかを押さえておく

事後学修：調査内容の整理

12 論点をしぼる 教科書：第5章

事前学修：調査したことの復習

事後学修：テーマを決める

13 課題文に対する批評を書く 教科書：第5章

事前学修：全体の構成を決める

事後学修：推敲する

14 他の人が書いた批評から学ぶ 教科書：第4章

事前学修：他の人の書いた批評文を読み通しておく

事後学修：講義内容の復習

15 1年のまとめ 教科書第6章

事前学修：後期の内容で苦手な箇所を把握すること。

事後学修：研究演習2年に向けて必要なスキルを確認すること。

以上はあくまで予定です，状況に応じて随時変更します。年間を通して「文章を読む」「議論する」「レポートを書く」を指導します。教学行事と並行して，学問修得に向けた動機付け等の取組を行います。学生生活における時間管理を指導します。

23. 予習・復習

予習：3時間 講義で与えられた課題の調査や発表の準備 復習：1時間 各回の内容の整理

24. 注意事項

各回で提出されたレポートやプレゼンテーションは，その場ないし次回講義においてコメント等を行います。PCは，教室では使用しないが，レポート作成のためにも早めに購入しておくことが望ましい。

25. 教材

プリントを配布する。

26. 教科書

27. 参考書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

28. 授業関連科目

研究演習2年，3年及び4年

29. 授業関連資格

30. 育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	10
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	35
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト	語彙・表現・要約等の課題	10
レポート	与えられた指示・条件に応じたレポートの作成	50
成果発表	資料を用いた口頭発表	30
受講態度	演習への積極的な参加	10
その他		

コード	33489
名称	教養演習Ⅰ (2026-前期-木4-33489)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	33489
4.授業科目	教養演習Ⅰ (2026-前期-木4-33489)
5.単位	2
6.担当教員	林 薫
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	

12.実務経験

有り

13.実務経験：内容

ヘルスケア業界の経営や技術分野を担当、通信会社・運輸業の人事部での経験があり組織と個人(社員)に関する人的資源分野で活躍した。

14.実務経験：授業との関連

経営活動全般の知識、組織デザイン、リーダーシップやモチベーションなどの組織マネジメントの知識、経営管理の知識などを、理論的・実践的に教授する。

15.初年次教育

初年次教育

16.授業形態

講義
演習

17.授業方法

受動型

アクティブラーニング：ディスカッションディベート

アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク

アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

19.接続科目

地域社会
産業界

20.授業の概要

経営学部経営学科に教養科目として、本学の「幅広い学習機会の提供」という教育目標に貢献し、課題設定・問題解決能力を身につけるための基本的な知識を教科書に沿って学びます。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

本授業は、下記の能力獲得を目標とする。

- 目標1 大学生として必要な基本的スキルを身につけることができる。
- 目標2 卒業論文を書くための基礎となる知識を獲得することができる。
- 目標3 グループワーク等の協同作業によって社会スキルを身につけることができる。

22.授業計画

対面演習で実施します。なお、学校閉鎖時には、ZOOMを使用したオンラインの演習となります。

本演習は、グループワークなどの実践型学習をおこなうため、仲間と積極的にコミュニケーションを取ることを意識すること。シラバスは、演習の進行状態や学習者の興味関心に応じて変更する。

1.時間割作成・検印・自己（他己）紹介

事前学修：学生便覧を読んで時間割を作成しておくこと。

事後学修：時間割について指導された内容を反映させること。

2.高校の授業と大学の講義の違いはどこにあるのか

教科書：「新・知のツールボックス」 プロローグ

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：演習内容を復習しておくこと。

3.ノートの取り方を理解しよう

教科書：「新・知のツールボックス」 第1章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：演習内容を復習しておくこと。

4.マインドマップを作ってみよう

教科書：「新・知のツールボックス」 第1章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：作成したマインドマップを見て自分の考えを再整理する。

5.色々な大学の教員と接してみよう～モチベーションアップ・レセプション～

事前学修：在学中にやりたいことや将来の目標について考えてみること。

事後学修：演習での議論を反映して自分の考えを再整理する。

6.図書館で調べ物をしてみよう

教科書：「新・知のツールボックス」 第2章

事前学修：図書館を事前に訪問して利用法を調べておく。

事後学修：実際に興味のある本を借りて読んでみる。

7.メディア・リテラシーとは何か

教科書：「新・知のツールボックス」 第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：演習内容を復習しておくこと。

8.テーマを決めて実際に調べてみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」 第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：演習内容を復習しておくこと。

9.テーマを決めて実際に調べてみよう-発展編-

教科書：「新・知のツールボックス」 第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：演習内容を復習しておくこと。

10.テーマを決めて実際に調べてみよう-まとめ-

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：演習内容を復習しておくこと。

11.文章を読んでみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：演習内容を復習しておくこと。

12.文章を読んでみよう-作者の主張していることの把握-

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：演習内容を復習しておくこと。

13.文章を読んでみよう-パラグラフを見分ける-

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：演習内容を復習しておくこと。

14.文章を読んでみよう-まとめ-

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：演習内容を復習しておくこと。

15.前期のまとめ

事前学修：前期で行った演習内容で苦手な箇所を把握すること。

事後学修：前期の演習を踏まえて苦手だった箇所を復習すること。

23.予習・復習

予習(2時間程度)：演習資料の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

復習(2時間程度)：提出課題を作成すること。

24.注意事項

成績評価方法：レポート(30%)、成果発表(50%)、受講態度(20%)

学生の興味関心に応じて、演習内容を変更する可能性がある。

フィードバック：提出課題にコメント等を付けて返却する。

25.教材

26.教科書

書名	新・知のツールボックス 新入生のための学び方サポートブック
著者	専修大学出版企画委員会編 (2018)
出版社	専修大学出版局

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年, 研究演習3年, 研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	20
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	20
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	20
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	10
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	10

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート		30
成果発表		50
受講態度		20
その他		

コード	33490
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33490)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33490
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33490)
5.単位	2
6.担当教員	林 薫
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	

12.実務経験

有り

13.実務経験：内容

ヘルスケア業界の経営や技術分野を担当、通信会社・運輸業の人事部での経験があり組織と個人(社員)に関する人的資源分野で活躍した。

14.実務経験：授業との関連

経営活動全般の知識、組織デザイン、リーダーシップやモチベーションなどの組織マネジメントの知識、経営管理の知識などを、理論的・実践的に教授する。

15.初年次教育

16.授業形態

講義

17.授業方法

受動型

アクティブラーニング：課題解決型

アクティブラーニング：ディスカッションディベート

アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク

アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

PC・タブレット（学生自身が準備）

スマートフォン

19.接続科目

地域社会

産業界

20.授業の概要

経営学部経営学科に教養科目として、本学の「幅広い学習機会の提供」という教育目標に貢献し、課題設定・問題解決能力を身につけるための基本的な知識を教科書に沿って学びます。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

本授業は、下記の能力獲得を目標とする。

- 目標1 大学生として必要な基本的スキルを身につけることができる。
- 目標2 卒業論文を書くための基礎となる知識を獲得することができる。
- 目標3 グループワーク等の協同作業によって社会スキルを身につけることができる。

22.授業計画

対面講義で実施します。なお、学校閉鎖時には、ZOOMを使用したオンラインの講義となります。

受動型の講義と討論・グループワーク・プレゼンテーションを行います。

教科書「新・知のツールボックス」に沿っての講義と関連する知識を学びます。

1.イントロダクション

この講義で何を学ぶかと評価方法の説明。

事前学修：教科書に目を通して、どのような内容であるかを知っておくこと。

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

2. 議論をしてみようー導入編ー

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義の内容を復習しておくこと。

3. 議論をしてみようー実際の議論を体験してみるー

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義の内容を復習しておくこと。

4. 議論をしてみようー議論を振り返ってみようー

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義の内容を復習しておくこと。

5. レポートを書いてみようー導入編ー

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義の内容を復習しておくこと。

6. レポートを書いてみようーレポートを書く手順を知ろうー

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義の内容を復習しておくこと。

7. レポートを書いてみようー正確な文章を書くために必要なことはー

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義の内容を復習しておくこと。

8. 23.経営学科の2年演習コース説明会

事前学修：講義概要を読んで経営学科の3つのコースについて把握しておくこと。

事後学修：コース説明会やシラバスを読んで自分の行きたいコースを選択すること。

9. プレゼンテーションをやってみようー導入編ー

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義の内容を復習しておくこと。

10. プレゼンテーションをやってみようー班の設定とグループワークー

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義の内容を復習しておくこと。

11. プレゼンテーションをやってみようー課題の作成ー

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義の内容を復習しておくこと。

12. プレゼンテーションをやってみようー課題の作成ー

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義の内容を復習しておくこと。

13. プレゼンテーションをやってみようー課題の報告ー

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義の内容を復習しておくこと。

14. プレゼンテーションをやってみようー課題の報告ー

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。

事後学修：講義の内容を復習しておくこと。

15. まとめと反省

この講義のまとめと反省を行う。

事前学修：講義内容を振り返り内容を理解すること。

事後学修：次期に向けて教科書の内容を確認すること。

23. 予習・復習

予習(2時間程度)：教科書の該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。

復習(2時間程度)：授業内容を整理すること。

24. 注意事項

積極的に講義に関わること。受け身で聞くだけでは大学での学びではない。

成績評価方法：レポート(30%)、成果発表(50%)、受講態度(20%)

学生の興味関心に応じて、演習内容を変更する可能性がある。

フィードバック：提出課題にコメント等を付けて返却する。

PCはプレゼンテーション等に使用する。

25. 教材

26. 教科書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書**28.授業関連科目****29.授業関連資格****30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）**

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	25
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	10
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	10

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	レポートを提出	50
成果発表	討論とプレゼンテーション	25
受講態度	講義への参加態度	25
その他		

コード	33012
名称	教養演習Ⅰ (2026-前期-木4-33012)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	33012
4.授業科目	教養演習Ⅰ (2026-前期-木4-33012)
5.単位	2
6.担当教員	林部 由香
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育	
16.授業形態 演習	
17.授業方法 受動型 アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（学生自身が準備）	
19.接続科目 地域社会	
20.授業の概要 本演習は、経営学部経営学科の教養科目として、本学の教育目標である「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目的としています。 この演習を通して、大学生活において必要な基礎能力である「読む」「書く」「聞く」「話す」「考える」の5つの力を伸ばしていきます。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習を通じて以下のようなことができるようになることを到達目標としています。

1.大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。

前期では、プレゼンテーション（個人ワーク・グループワーク）を中心に学習します。

2.在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。

モチベーションアップ・レセプションや学生同士、学生と教員との親睦等を通じて学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけます。

22.授業計画

・受講条件

本演習は、個人PC、プレゼンテーション資料作成ソフト（Microsoft Power point等）が必要です。

・講義方法

本演習は、対面（教室）で行います。コロナウイルス感染拡大の影響で学校閉鎖になった場合は、Zoomによるオンライン授業を行います（後日の 授業内容の配信はありません）。

対面授業の場合：教室にて、成果発表や課題提出を行います。

オンライン授業の場合：Zoomで成果発表を行います。課題はWebClassを通して提出します。

変更があれば、WebClassを用いて連絡します。

・授業計画

※受講者の興味や理解度などにより、以下の内容は変更になる可能性があります。

1. 時間割作成・自己紹介

事前学修：学生便覧を読んで時間割を作成する。

事後学修：時間割について指導された内容を反映する。

2. チームビルディング

事前学修：特になし。

事後学修：演習内容を復習する。

3. メールの書き方を練習する

教科書：専修大学出版企画委員会編（2024）：第7章

事前学修：教科書や配布資料を読む。

事後学修：演習内容を復習する。

4. プレゼンテーション①：プレゼンテーションのスライドを作成する

教科書：専修大学出版企画委員会編（2024）：第6章

事前学修：教科書や配布資料を読む。

事後学修：スライドを作成する。

5. データベース講習会参加

事前学修：これまでの講義内容を復習する。

事後学修：今日の講習内容を復習する。

6. プレゼンテーション②：プレゼンテーションをする（1）

教科書：専修大学出版企画委員会編（2024）：第6章

事前学修：教科書や配布資料を読む。

事後学修：スライドを作成する。

7. プレゼンテーション③：プレゼンテーションをする（2）

教科書：専修大学出版企画委員会編（2024）：第6章

事前学修：教科書や配布資料を読む。

事後学修：スライドを作成する。

8. 図書館ツアー参加

事前学修：商大の図書館についてHPで調べる。

事後学修：実際に図書館を利用する。

9. 講習会（モチベーションアップ・レセプション）参加

事前学修：これまでの講義内容を復習する。

事後学修：講演内容を振り返る。

10. グループプレゼンテーション①：準備

教科書：専修大学出版企画委員会編（2024）：第6章

事前学修：ディベートを練習する。

事後学修：講演内容を振り返る。

11. 講習会参加

事前学修：これまでの講義内容を復習する。

事後学修：講演内容を振り返る。

12. 講習会参加

事前学修：これまでの講義内容を復習する。

事後学修：講演内容を振り返る。

13. グループプレゼンテーション②：準備

教科書：専修大学出版企画委員会編（2024）：第6章

事前学修：グループワークを進める。

事後学修：グループワークを進める。

14. グループプレゼンテーション③：発表練習

教科書：専修大学出版企画委員会編（2024）：第6章

事前学修：グループワークを進める。

事後学修：グループワークを進める。

15. グループプレゼンテーション④：成果発表

事前学修：プレゼンテーションの練習をする。

事後学修：もらったフィードバックを確認する。

23. 予習・復習

予習（2時間）：教科書や配付資料を読み、疑問点をまとめる。

復習（2時間）：演習内容を整理する。課題に取り組む。

24. 注意事項

注意：原則として、欠席回数が5回を超えた学生の成績の評価は行いません（公欠届がある場合を除く）。また、課題提出をしない学生、不適切な受講態度（居眠り、私語、講義に参加しないなど）の学生も単位認定を行いません。

成績評価方法：提出課題（50%）受講態度（50%）で総合的に成績を評価します。

フィードバック：提出課題にコメントをします。

PC：メール作成の練習、プレゼンテーションのスライド作成の練習で使用します。

25. 教材

WebClassを用いて、適宜資料を配布します。

26.教科書

ISBN	9784880000000
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年、研究演習3年、研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	10
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	5
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	40
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	20
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート		
成果発表	提出課題の内容を評価する。	50
受講態度	授業への貢献度・参加態度を評価する。	50
その他		

コード	33091
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33091)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33091
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33091)
5.単位	2
6.担当教員	林部 由香
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育	
16.授業形態 演習	
17.授業方法 受動型 アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（学生自身が準備）	
19.接続科目 地域社会	
20.授業の概要 本演習は、経営学部経営学科の教養科目として、本学の教育目標である「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目的としています。 この演習を通して、大学生活において必要な基礎能力である「読む」「書く」「聞く」「話す」「考える」の5つの力を伸ばしていきます。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「29.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習を通じて以下のようなことができるようになることを到達目標としています。

1.大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。

後期では、レポート作成やアイデアの出し方・まとめ方を中心に学習します。

2.在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。

学生同士、学生と教員との親睦等を通じて学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけます。

22.授業計画

・受講条件

本演習は、個人PC、文章作成ソフト（Microsoft Word等）、プレゼンテーション資料作成ソフト（Microsoft Power point等）が必要です。

・講義方法

本演習は、対面（教室）で行います。コロナウイルス感染拡大の影響で学校閉鎖になった場合は、Zoomによるオンライン授業を行います（後日の 授業内容の配信はありません）。

対面授業の場合：教室にて、成果発表や課題提出を行います。

オンライン授業の場合：Zoomで成果発表を行います。課題はWebClassを通して提出します。

変更があれば、WebClassを用いて連絡します。

・授業計画

※受講者の興味や理解度などにより、以下の内容は変更になる可能性があります。

1. 後期時間割作成

事前学修：演習概要をもとに時間割を作成しておくこと。

事後学修：前期の成績を踏まえて後期の目標を立てること。

2. よい文章の書き方を学ぶ①：問い・主張・論拠

教科書：専修大学出版企画委員会編（2024）：第5章

事前学修：教科書や配布資料を読む。

事後学修：演習内容を復習する。

3. よい文章の書き方を学ぶ②：引用と参考文献

教科書：専修大学出版企画委員会編（2024）：第5章

事前学修：教科書や配布資料を読む。

事後学修：演習内容を復習する。

4. よい文章の書き方を学ぶ③：レポートを書いてみる

教科書：専修大学出版企画委員会編（2024）：第5章

事前学修：教科書や配布資料を読む。

事後学修：レポートを作成し提出する。

5. よい文章の書き方を学ぶ④：レポートを修正する

教科書：専修大学出版企画委員会編（2024）：第5章

事前学修：教科書や配布資料を読む。

事後学修：演習内容を復習する。

6. よい文章の書き方を学ぶ⑤：再びレポートを書いてみる

教科書：専修大学出版企画委員会編（2024）：第5章

事前学修：教科書や配布資料を読む。

事後学修：レポートを作成し提出する。

7. よい文章の書き方を学ぶ⑥：仲間のレポートを添削する

教科書：専修大学出版企画委員会編（2024）：第5章

事前学修：教科書や配布資料を読む。

事後学修：演習内容を復習する。

8. 経営学科の2年演習コース説明会（予定）

事前学修：演習概要を読んで経営学科の3つのコースについて把握する。

事後学修：コース説明会やシラバスを読んで自分の行きたいコースを選択する。

9. アイディアをまとめる①：マインドマップ作成

事前学修：教科書や配布資料を読む。

事後学修：演習内容を復習する。

10. アイディアをまとめる②：KJ法・ブレインストーミング

事前学修：教科書や配布資料を読む。

事後学修：演習内容を復習する。

11. グループワーク①：グループ分け、準備

事前学修：これまでの講義内容を復習する。

事後学修：グループワークを進める。

12. グループワーク②：準備

事前学修：グループワークを進める。

事後学修：グループワークを進める。

13. グループワーク③：準備

事前学修：グループワークを進める。

事後学修：グループワークを進める。

14. グループワーク④：発表

事前学修：グループワークを進める。

事後学修：グループワークを進める。

15. 後期のまとめ

事前学修：後期の演習を通して、疑問点や反省点をまとめる。

事後学修：研究演習2年へ向けて、どのような知識や能力が必要かを調べる。

23. 予習・復習

予習（2時間）：教科書や配付資料を読み、疑問点をまとめる。

復習（2時間）：演習内容を整理する。課題に取り組む。

24. 注意事項

注意：原則として、欠席回数が5回を超えた学生の成績の評価は行いません（公欠届がある場合を除く）。また、課題提出をしない学生、不適切な受講態度（居眠り、私語、講義に参加しないなど）の学生も単位認定を行いません。

成績評価方法：成果発表（20%）、レポート課題（30%）、受講態度（50%）によって総合的に成績を評価します。

フィードバック：提出課題にコメントをします。

PC：レポート作成や、グループワークで使用します。

25. 教材

WebClassを用いて、適宜資料を配布します。

26.教科書

27.参考書

ISBN	9784880000000
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

28.授業関連科目

研究演習 2年、研究演習 3年、研究演習 4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	5
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	35
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	20
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	レポート課題の内容を評価する。	30
成果発表	成果発表の内容を評価する。	20%
受講態度	授業への貢献度・参加態度を評価する。	50
その他		

コード	33358
名称	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-33358)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	33358
4.授業科目	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-33358)
5.単位	2
6.担当教員	日笠 倫周
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 演習	
17.授業方法 アクティブラーニング：ディスカッションディベート アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（学生自身が準備） スマートフォン	
19.接続科目 産業界	
20.授業の概要 本講義は、本学の教育目標の1つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標とする。 具体的には、大学生活や社会で必要となるスタディ・スキルの修得や論理的思考能力の養成などを行う。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。

1. レポートの書き方やプレゼンテーションの手法などのスタディ・スキルズを身につけることができる。
2. 論理的に考えることができる。
3. 大学施設を利用することができる。
4. 協調性ある行動ができる。

22.授業計画

[講義方法]

本講義は、対面授業のみで行う。

学校閉鎖になった場合は、「ZOOM」を使用したオンライン授業を行う。

[授業における基本的な事項]

授業資料配布や課題提出は「WebClass」を通じて行う。

1. オリエンテーション（自己紹介など）

事前学修：シラバスを読むこと。

事後学修：授業資料を見直すこと。

2. グループワーク

事前学修：他の生徒との親睦を深めること。

事後学修：他の生徒との親睦を深めること。

3. 図書館の活用

事前学修：図書館を事前に訪問しておくこと。

事後学修：興味のある本を借りて読むこと。

4. PCの利用

事前学修：PC教室の場所と利用時の注意点を調べておくこと。

事後学修：PCを利用して興味のある情報を集めること。

5. 本の読み方（第4章）

事前学修：該当する教科書の章を読んでおくこと。

事後学修：授業資料を見直すこと。

6. 情報収集の基礎（第3章）

事前学修：該当する教科書の章を読んでおくこと。

事後学修：授業資料を見直すこと。

7. 情報の整理（第5章）

事前学修：該当する教科書の章を読んでおくこと。

事後学修：授業資料を見直すこと。

8. レポートとは（第8章）

事前学修：該当する教科書の章を読んでおくこと。

事後学修：授業資料を見直すこと。

9. レポートの書き方（第8章）

事前学修：該当する教科書の章を読んでおくこと。

事後学修：授業資料を見直すこと。

10. プレゼンテーションのやり方（第7章）

事前学修：該当する教科書の章を読んでおくこと。

事後学修：授業資料を見直すこと。

11. プレゼンテーション資料の作成

事前学修：パワーポイントの使い方を調べておくこと。

事後学修：報告資料を作成すること。

12. プレゼンテーションの実践

事前学修：報告資料の準備をすること。

事後学修：報告資料を見直すこと。

13. グループディスカッションと課題設定

事前学修：課題について情報収集をしておくこと。

事後学修：グループで報告資料を作成すること。

14. グループによる成果報告

事前学修：グループで報告資料の準備をすること。

事後学修：報告資料を見直すこと。

15. ラップアップ

事前学修：半期で学んだことの問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：授業内容を振り返ること。

23. 予習・復習

予習（3時間程度）：授業で与えられた内容の調査、報告の準備など。

復習（1時間程度）：各回の内容の整理など。

24. 注意事項

- ・ 成果発表（60%）と受講態度（40%）によって成績評価をする。
- ・ フィードバック：成果発表については、発表後に講評を行う。
- ・ WebClassを利用して出席確認を行う。各自スマートフォン等の端末と通信環境を用意すること。
- ・ 学生の興味関心などに応じて、講義内容を多少変更する可能性がある。

25. 教材

適宜プリントを配布する。

26. 教科書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27. 参考書

28. 授業関連科目

教養演習後期、基礎演習、経営学部の専門科目

29. 授業関連資格

研究演習2年、3年及び、4年及び経営学科の各専門科目

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	10
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	20
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	15
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	5
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	10
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	10

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート		
成果発表	プレゼンテーション資料を作成し発表する。その内容を評価する。	60
受講態度	グループワークや授業への積極的な参加を評価する。	40
その他		

コード	33359
名称	教養演習Ⅱ(2026-後期-木4-33359)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33359
4.授業科目	教養演習Ⅱ(2026-後期-木4-33359)
5.単位	2
6.担当教員	日笠 倫周
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 演習	
17.授業方法 アクティブラーニング：ディスカッションディベート アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（学生自身が準備） スマートフォン	
19.接続科目 産業界	
20.授業の概要 本講義は、本学の教育目標の1つである「幅広い学習機会の提供」に貢献することを目標とする。 具体的には、大学生活や社会で必要となるスタディ・スキルズの修得や論理的思考能力の養成などを行う。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。

1. レポートの書き方やプレゼンテーションの手法などのスタディ・スキルズを身につけることができる。
2. 論理的に考えることができる。
3. 大学施設を利用することができる。
4. 協調性ある行動ができる。

22.授業計画

[講義方法]

本講義は、対面授業のみで行う。

学校閉鎖になった場合は、「ZOOM」を使用したオンライン授業を行う。

[授業における基本的な事項]

授業資料配布や課題提出は「WebClass」を通じて行う。

1. オリエンテーション

事前学修：シラバスを読むこと。

事後学修：授業資料を見直すこと。

2. ボードゲームを使ったグループワーク：ルールの理解

事前学修：指定するボードゲームのルールを調べること。

事後学修：授業資料を見直すこと。

3. ボードゲームを使ったグループワーク：戦略の理解

事前学修：指定するボードゲームについて調べること。

事後学修：授業資料を見直すこと。

4. ボードゲームを使ったグループワーク：戦術の活用

事前学修：指定するボードゲームについて調べること。

事後学修：授業資料を見直すこと。

5. ボードゲームを使ったグループワーク：交渉の活用

事前学修：指定するボードゲームについて調べること。

事後学修：授業資料を見直すこと。

6. 論理的に考えるとは

事前学修：配布する授業資料に目を通し、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：授業資料を見直すこと。

7. 戦略的に考えるとは

事前学修：配布する授業資料に目を通し、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：授業資料を見直すこと。

8. グループワークの説明

事前学修：配布する授業資料に目を通し、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：授業資料を見直すこと。

9. 企業の戦略分析：対象企業の決定

事前学修：興味のある企業について調べておくこと。

事後学修：授業資料を見直すこと。

10. 企業の戦略分析：資料作成-1

事前学修：配布する授業資料に目を通し、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：講義中に指摘した内容を反映させること。

11. 企業の戦略分析：資料作成-2

事前学修：配布する授業資料に目を通し、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：講義中に指摘した内容を反映させること。

12. 企業の戦略分析：資料作成-3

事前学修：配布する授業資料に目を通し、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：講義中に指摘した内容を反映させること。

13. 企業の戦略分析：報告会-1

事前学修：作成した資料を確認すること。

事後学修：報告資料を見直すこと。

14. 企業の戦略分析：報告会-2

事前学修：作成した資料を確認すること。

事後学修：報告資料を見直すこと。

15. ラップアップ

事前学修：報告の講評に対する疑問点を整理しておくこと。

事後学修：今後取り組みたいことを明確にすること。

23. 予習・復習

予習（3時間程度）：授業で与えられた内容の調査、報告の準備など。

復習（1時間程度）：各回の内容の整理など。

24. 注意事項

- ・ 成果発表（60%）と受講態度（40%）によって成績評価をする。
- ・ フィードバック：成果発表については、発表後に講評を行う。
- ・ WebClassを利用して出席確認を行う。各自スマートフォン等の端末と通信環境を用意すること。
- ・ 学生の興味関心などに応じて、講義内容を多少変更する可能性がある。

25. 教材

適宜プリントを配布する。

26. 教科書

27. 参考書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

28. 授業関連科目

研究演習2年，3年及び，4年及び経営学科の各専門科目

29. 授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	20
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	20
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	15
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	5
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート		
成果発表	プレゼンテーション資料を作成し発表する。その内容を評価する。	60
受講態度	グループワークや授業への積極的な参加を評価する。	40
その他		

コード	33410
名称	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-33410)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	33410
4.授業科目	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-33410)
5.単位	2
6.担当教員	藤本 宏美
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 講義 演習	
17.授業方法 受動型 アクティブラーニング：課題解決型 アクティブラーニング：ディスカッションディベート アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（学生自身が準備） スマートフォン	
19.接続科目 地域社会 産業界	
20.授業の概要 本演習は、経営学部経営学科の教養科目として、大学生として必要な基本的なスキルを身につけ、在学中も含めて将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることを目的とする。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習は、以下のことを到達目標とする。

1. 大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集や文章を読み議論（プレゼンテーション）するなどの基本的知識を身につけることができる。
2. 在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。具体的には、経営学科行事や学生同士、学生と教員との親睦等を通じて学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけることができる。

22.授業計画

この講義は「対面」を基本とするが、対面・オンラインに係わらず、以下のシラバスに従って事前学習と事後学習を各自で行い、レポート提出等を行う。

オンライン対応時、ZOOM等を通じて、講義日の前日までに具体的な指示を『WebClass』から送信する。毎回レポート提出が必要である。

<注意事項>

本演習は後期からグループワークを中心に講義する場合もある。積極的にグループワークに参加すること。

1.時間割作成・検印・自己（他己）紹介

事前学修：学生便覧を読んで時間割を作成しておくこと。

事後学修：時間割について指導された内容を反映させること。

2.高校の授業と大学の講義の違いはどこにあるのか

教科書：改訂版 新・知のツールボックス プロローグ

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

3.ノートの取り方を理解しよう

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第1章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

4.マインドマップを作ってみよう

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第1章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

5.色々な大学の教員と接してみよう?経営学科行事?

事前学修：在学中にやりたいことや将来の目標について考えてみること。

事後学修：自分の目標を達成するためにはどうすれば良いのかを再度考えてみる。

6.図書館で調べ物をしてみよう

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

7.メディア・リテラシーとは何か

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

8.テーマを決めて実際に調べてみよう-導入編-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

9.テーマを決めて実際に調べてみよう-発展編-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

10.テーマを決めて実際に調べてみよう-まとめ-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

11.文章を読んでみよう-導入編-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

12.文章を読んでみよう-作者の主張していることの把握-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

13.文章を読んでみよう-パラグラフを見分ける-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

14.文章を読んでみよう-まとめ-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

15.前期のまとめ

事前学修：前期で行った講義内容で苦手な箇所を把握すること。

事後学修：前期の講義を踏まえて苦手だった箇所を復習すること。

23.予習・復習

予習(2時間程度)：授業資料の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

復習(2時間程度)：提出課題を作成すること。

24.注意事項

出席：出席をとるのでPCまたはスマートフォンを必ず毎回持参のこと。

注意：原則として、無断欠席をする者および課題提出を怠る者には単位を認定しない。

なお、学生の興味関心に応じて、演習内容を多少変更する可能性がある。

資料作成など個人またはグループで行う際にPCを利用するので各自持参すること。

フィードバック：成果発表・提出課題にコメントをする。

25.教材

必要に応じて適宜配布する

26.教科書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年, 研究演習3年, 研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	30
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	10
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	レポート及び受講態度で評価を行う。	40
成果発表	PowerPoint資料作成及び発表で評価を行う。	20
受講態度	資料等の持参なしや居眠り・すでに講義で話した内容を聞いていない, 指定した以外でのスマホなど電子機器の使用は減点	40
その他		

コード	33412
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33412)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33412
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33412)
5.単位	2
6.担当教員	藤本 宏美
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	

12.実務経験

13.実務経験：内容

14.実務経験：授業との関連

15.初年次教育

初年次教育

16.授業形態

講義
演習

17.授業方法

受動型
アクティブラーニング：課題解決型
アクティブラーニング：ディスカッションディベート
アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク
アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

PC・タブレット（学生自身が準備）
スマートフォン

19.接続科目

地域社会
産業界

20.授業の概要

本演習は、経営学部経営学科の教養科目として、大学生として必要な基本的なスキルを身につけ、在学中も含めて将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることを目的とする。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習は、以下のことを到達目標とする。

1. 大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集や文章を読み議論（プレゼンテーション）するなどの基本的知識を身につけることができる。
2. 在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。具体的には、経営学科行事や学生同士、学生と教員との親睦等を通じて学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけることができる。

22.授業計画

この講義は「対面」を基本とするが、対面・オンラインに係わらず、以下のシラバスに従って事前学習と事後学習を各自で行い、レポート提出等を行う。

オンライン対応時、ZOOM等を通じて、講義日の前日までに具体的な指示を『WebClass』から送信する。毎回レポート提出が必要である。

<注意事項>

本演習は後期からグループワークを中心に講義する場合もある。積極的にグループワークに参加すること。

1.後期時間割作成・前期の成績について

事前学修：講義概要をもとに時間割を作成しておくこと。

事後学修：前期の成績を踏まえて後期の目標を立てること。

2.議論をしてみよう-導入編（ビブリオバトル）-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

3.議論をしてみよう-実際の議論を体験してみる（ビブリオバトル）-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

4.議論をしてみよう-議論を振り返ってみよう（ビブリオバトル）-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

5.プレゼンテーションをしてみよう-導入編-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

6.プレゼンテーションをしてみよう-課題の作成-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

7.プレゼンテーションをしてみよう-課題の作成-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

8.経営学科の2年演習コース説明会

事前学修：講義概要を読んで経営学科の3つのコースについて把握しておくこと。

事後学修：コース説明会やシラバスを読んで自分の行きたいコースを選択すること。

9.プレゼンテーションをしてみよう-課題の報告-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第6章

事前学修：配布資料を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

10.プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告-

教科書：改訂版 新・知のツールボックス 第6章

事前学修：配布資料を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

11.プログラミングを作ってみよう-Scratchの導入-

事前学修：配布資料を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

12.プログラミングを作ってみよう-課題の作成-

事前学修：配布資料を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

13.プログラミングを作ってみよう-課題の作成-

事前学修：配布資料を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

14.プログラミングを作ってみよう-課題の作成-

事前学修：配布資料を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

15.1年のまとめ

事前学修：後期で行った講義内容で苦手な箇所を把握すること。

事後学修：次年度の研究演習2年に向けて必要なスキルを確認しておくこと。

23.予習・復習

予習(2時間程度)：授業資料の該当箇所を読んで、問題点（疑問点）を整理しておくこと。

復習(2時間程度)：提出課題を作成すること。

24.注意事項

出席：出席をとるのでPCまたはスマートフォンを必ず毎回持参のこと。

注意：原則として、無断欠席をする者および課題提出を怠る者には単位を認定しない。

なお、学生の興味関心に応じて、演習内容を多少変更する可能性がある。

資料作成など個人またはグループで行う際にPCを利用するので各自持参すること。

フィードバック：成果発表・提出課題にコメントをする。

25.教材

必要に応じて適宜配布する

26.教科書

27.参考書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

28.授業関連科目

研究演習2年，研究演習3年，研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	30
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	10
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	レポート及び受講態度で評価を行う。	40
成果発表	課題物で評価を行う。	20
受講態度	資料等の持参なしや居眠り・すでに講義で話した内容を聞いていない，指定した以外でのスマホなど 電子機器の使用は減点	40
その他		

コード	33468
名称	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-33468)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	33468
4.授業科目	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-33468)
5.単位	2
6.担当教員	眞鍋 敏之
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育	
16.授業形態 演習 実習・実技	
17.授業方法 受動型 アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用	
19.接続科目 地域社会 産業界	
20.授業の概要 能動的な学びへの転換を図るゼミです。時間割作成やレポート、プレゼン等の技法を習得します。社会的事象を自分ごと化し、積極的な意見交換を通じて表現力や対人能力を高め、主体的・創造的に問題を解決できる深い学びの体験を目指します。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

- (1)アカデミックスキルの習得ノート術、図書館活用、情報検索など、大学での学びに必要な基礎技法を実践できる。
- (2)論理的な文章作成と表現社会的な問いに対し、適切な形式で論理的なレポートを執筆し、自身の考えを他者に伝えられる。
- (3)主体的・創造的な問題解決身近な事象を自分ごととして捉え、多様な視点から主体的かつ創造的に解決策を模索できる。
- (4)対話を通じた協働と合意形成グループ活動において他者を尊重し、積極的な意見交換を通じて協力的に課題に取り組める。

22.授業計画

<講義方法>

本演習は、対面授業で行います。対面時においても『WebClass』で資料配付やレポート提出について連絡しますので、必ず確認してください。

また、新型コロナウイルス感染状況等により、学校閉鎖になるなど対面授業が行えない場合は、「ZOOM」を使用したオンライン授業を行います。その場合は講義前日までに具体的な指示を『WebClass』の「メッセージ」や「お知らせ」に連絡事項を載せますので、確認してください。

<授業における基本的な事項>

対面授業：教室にて、成果発表，レポート提出を行う。

オンライン授業：「ZOOM」で成果発表，『WebClass』からレポート提出を行う。

<シラバス>

1 時間割作成、仲間づくり（自己・他己紹介、リーダーシップ）

事前学修：学生便覧を読んで時間割を作成しておくこと。

事後学修：時間割について指導された内容を反映させること。

2 目標探し、グループ活動、ゼミ内組織づくり

教科書：「新・知のツールボックス」プロローグ

事前学修：高校時代に前向きに取り組んだこと、大学生としてこれからやりたいことをまとめておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

3 高校の授業と大学の講義の違いはどこにあるのか

教科書：「新・知のツールボックス」第1章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

4 学びの攻略法、授業の聴き方・ノートの取り方を学ぶ

教科書：「新・知のツールボックス」第1章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

5 メディア・リテラシーを学ぶ

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

6 図書館の使い方を学ぶ

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：実際に興味のある本を借りて読んでみる。

7 ネットのコミュニケーションを活用する

教科書：「新・知のツールボックス」第7章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

8 モチベーションアップレセプション（経営学科行事）

事前学修：在学中にやりたいことや将来の目標について考えてみる。

事後学修：自分の目標を達成するためにはどうすれば良いのかを再度考えてみる。

9 文章を読んでみよう

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

10 グループ協議-ゼミ内活動について-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

11 グループ協議-人間関係づくりについて-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：高校時代に主体的に取り組んだ内容をまとめておくこと。また、教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

12 レポートを書いてみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

13 レポートを書いてみよう-レポートを書く手順を知る-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

14 プレゼンテーションについて学習しよう

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

15 前期のまとめ

事前学修：前期で行った講義・演習内容を振り返り自己課題を把握すること。

事後学修：前期の振り返りをふまえて、後期に向けた準備をすること。

23.予習・復習

- ・予習(2時間程度)：授業資料の該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。
- ・復習(2時間程度)：演習内容の振り返りと整理をし、提出課題を作成すること。

24.注意事項

- ・毎回ノートパソコン、教科書を持参すること。ノートパソコンはメール・レポート・スライド作成の演習やインターネット検索に利用する。そのため、あらかじめインターネットへの接続可能な学内Wi-Fiに接続設定をしておく。
- ・学生の興味関心、演習進度に応じて、演習内容を変更する可能性がある。
- ・フィードバックについては提出課題にコメント等をつけて次の授業で返却する。

25.教材

- ・必要に応じてプリントを配付する。

26.教科書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年，研究演習3年，研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5%
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	30%
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10%
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5%
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	5%
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	15%
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	20%
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5%
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5%

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	演習テーマごとのレポート提出	30%
成果発表	テーマ設定に基づいたゼミ内プレゼンテーション	40%
受講態度	発表を受けての質問や討議などへの積極的な演習参加態度	30%
その他		

コード	33469
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33469)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33469
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33469)
5.単位	2
6.担当教員	眞鍋 敏之
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	

12.実務経験

13.実務経験：内容

14.実務経験：授業との関連

15.初年次教育

初年次教育

16.授業形態

演習
実習・実技

17.授業方法

受動型
アクティブラーニング：ディスカッションディベート
アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク
アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

PC・タブレット（学生自身が準備）

19.接続科目

地域社会
産業界

20.授業の概要

能動的な学びへの転換を図るゼミです。時間割作成やレポート、プレゼン等の技法を習得します。社会的事象を自分ごと化し、積極的な意見交換を通じて表現力や対人能力を高め、主体的・創造的に問題を解決できる深い学びの体験を目指します。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

- (1)アカデミックスキルの習得ノート術、図書館活用、情報検索など、大学での学びに必要な基礎技法を实践できる。
- (2)論理的な文章作成と表現社会的な問いに対し、適切な形式で論理的なレポートを執筆し、自身の考えを他者に伝えられる。
- (3)主体的・創造的な問題解決身近な事象を自分ごととして捉え、多様な視点から主体的かつ創造的に解決策を模索できる。
- (4)対話を通じた協働と合意形成グループ活動において他者を尊重し、積極的な意見交換を通じて協力的に課題に取り組める。

22.授業計画

<講義方法>

本演習は、対面授業で行います。対面時においても『WebClass』で資料配付やレポート提出について連絡しますので、必ず確認してください。

また、新型コロナウイルス感染状況等により、学校閉鎖になるなど対面授業が行えない場合は、「ZOOM」を使用したオンライン授業を行います。その場合は講義前日までに具体的な指示を『WebClass』の「メッセージ」や「お知らせ」に連絡事項を載せますので、確認してください。

<授業における基本的な事項>

対面授業：教室にて、成果発表，レポート提出を行う。

オンライン授業：「ZOOM」で成果発表，『WebClass』からレポート提出を行う。

<シラバス>

1 後期時間割作成・前期の成績について

事前学修：講義概要をもとに時間割を作成しておくこと。

事後学修：前期の成績を踏まえて後期の目標を立てること。

2 テーマを決めて実際に調べてみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読み調べた内容を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

3 テーマを決めて実際に調べてみよう-発展編-

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

4 レポートを書いてみよう-演習-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：教科書の該当箇所を読みレポートの構成を考えておくこと。

事後学修：演習を振り返り、レポートの校正を行う。

5 調べた内容を発表しよう1

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：レポートをもとに発表準備をすること。

事後学修：提出課題（発表の振り返り、相互評価）を作成すること。

6 調べた内容を発表しよう2

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：レポートをもとに発表準備をすること。

事後学修：提出課題（発表の振り返り、相互評価）を作成すること。

7 議論をしてみよう-ディベートから学ぶ-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

8 議論をしてみよう-議論を振り返る-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

9 経営学科の2年演習コース説明会

事前学修：講義概要を読んで経営学科の3つのコースについて把握しておくこと。

事後学修：コース説明会やシラバスを読んで自分の行きたいコースを選択すること。

10 プレゼンテーションをやってみよう-班の設定とグループワーク-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

11 プレゼンテーションをやってみよう-課題の作成-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

12 プレゼンテーションをやってみよう-課題の作成-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

13 プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

14 プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

15 1年のまとめ

事前学修：後期で行った講義・演習内容を振り返り課題を把握すること。

事後学修：次年度の研究演習2年に向けて必要なスキルを確認しておくこと。

23.予習・復習

- ・予習(2時間程度)：授業資料の該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。
- ・復習(2時間程度)：演習内容の振り返りと整理をし、提出課題を作成すること。

24.注意事項

- ・毎回ノートパソコン、教科書を持参すること。ノートパソコンはメール・レポート・スライド作成の演習やインターネット検索に利用する。そのため、あらかじめインターネットへの接続可能な学内Wi-Fiに接続設定をしておく。
- ・学生の興味関心、演習進度に応じて、演習内容を変更する可能性がある。
- ・フィードバックについては提出課題にコメント等をつけて次の授業で返却する。

25.教材

- ・必要に応じてプリントを配付する。

26.教科書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年，研究演習3年，研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5%
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	30%
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10%
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5%
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	5%
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	15%
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	20%
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5%
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5%

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	演習テーマごとのレポート提出	30%
成果発表	テーマ設定に基づいたゼミ内プレゼンテーション	40%
受講態度	発表を受けての質問や討議などへの積極的な演習参加態度	30%
その他		

コード	32395
名称	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-32395)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	32395
4.授業科目	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-32395)
5.単位	2
6.担当教員	村上 洋之
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 講義 演習	
17.授業方法 受動型 アクティブラーニング：課題解決型 アクティブラーニング：ディスカッションディベート アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（学生自身が準備） スマートフォン	
19.接続科目 地域社会 産業界	

20.授業の概要

経営学部経営科の教養科目として、社会的事象を的確に捉え、分析し、創造的に問題を解決していくことができ、かつ、心の豊かさを持った人となるために、主体的に取り組む姿勢や対話を通して協働し課題を解決していくことで深い学びの体験となるよう講義を行う。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習は、以下のことを到達目標とする。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。

具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識やPCの活用能力を身につける。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。

具体的には、経営学科行事や学生同士、学生と教員との親睦等を通じて協働していたり、人間関係を円滑にしていったりすることができる対人関係能力や、コミュニティ活動に関連する大学生活で必要なスキルや社会の中での必要なスキルを身につけることができる。

22.授業計画

<講義方法>

本演習は、対面授業で行います。対面時においてもWeb Classで資料配付やレポート提出について連絡しますので、必ず確認してください。また、新型コロナウイルス感染状況等により、学校閉鎖になるなど対面授業が行えない場合は、Zoomを使用したオンライン授業を行います。その場合は、講義前日までに具体的な指示をWeb Classで連絡事項を送信するので確認してください。

<授業における基本的な事項>

対面授業：教室にて、成果発表、レポート提出を行う。

持参するPCの管理（充電状況・Officeの準備・動作確認など 持参物：マウス・充電器など）

オンライン授業：Zoomで成果発表、Web Classからレポート提出を行う。

<シラバス>

1 時間割作成・検印・自己（他己）紹介

Web Class によるデータの送受信とPCの活用について

事前学修：学生便覧を読んで時間割を作成しておくこと。

事後学修：時間割について指導された内容を反映させること。

2 高校の授業と大学の講義の違いはどこにあるのか

教科書：「新・知のツールボックス」 プロローグ

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

3 授業の聴き方・ノートの取り方を学ぶ

教科書：「新・知のツールボックス」第1章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

4 マインドマップを作ってみよう

教科書：「新・知のツールボックス」第1章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

5 色々な大学の教員と接してみよう?経営学科行事?

事前学修：在学中にやりたいことや将来の目標について考えてみること。

事後学修：自分の目標を達成するためにはどうすれば良いのかを再度考えてみる。

6 図書館の使い方を学ぶ

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：実際に興味のある本を借りて読んでみる。

7 メディア・リテラシーを学ぶ

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

8 テーマを決めて実際に調べてみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

9 テーマを決めて実際に調べてみよう-発展編-

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

10 テーマを決めて実際に調べてみよう-まとめ-

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

11 文章を読んでみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

12 文章を読んでみよう-作者の主張していることの把握-

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

13 文章を読んでみよう-パラグラフを見分ける-

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

14 文章を読んでみよう-まとめ-

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

15 前期のまとめ

事前学修：前期で行った講義・演習内容を振り返り自己課題を把握すること。

事後学修：前期の講義を踏まえて苦手だった箇所を復習すること。

23.予習・復習

予習(2時間程度)：授業資料の該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。

復習(2時間程度)：演習内容の振り返りと整理をし、提出課題を作成すること。

24.注意事項

- ・学校閉鎖時にはZoomを使用した講義となります。
- ・学生準備のPCについて
 - ・毎回使用し講義を進めていきます。インターネットやOSU-Portを活用するためPCのWi-Fi設定や課題への取り組みのためのExcel、Word、PowerPoint等のソフトウェアの使用環境の整備をしておくこと。
 - ・持参するPCの管理に留意すること。(充電状況・動作確認など 持参物：マウス・充電器など)
 - ・課題への取り組みは内容により、次の授業で解説する、コメント等を付けて返却する、講義の中で協議・検討する題材に取りあげる、それぞれの課題の内容について意見交換や協議を行う。

25.教材

教材プリントや新聞記事等を適宜配布し活用する。

26.教科書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会編
出版社	専修大学出版局
価格	900円+税

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年、3年及び4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	40
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト	適宜小テストを実施評価する。	10
レポート	毎回レポートで評価する。	75
成果発表	講義での発表・発言を評価する。	10
受講態度	講義への参加態度を評価する。	5
その他		

コード	33085
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33085)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33085
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33085)
5.単位	2
6.担当教員	村上 洋之
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 講義 演習	
17.授業方法 受動型 アクティブラーニング：課題解決型 アクティブラーニング：ディスカッションディベート アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（学生自身が準備） スマートフォン	
19.接続科目 地域社会 産業界	

20.授業の概要

経営学部経営科の教養科目として、社会的事象を的確に捉え、分析し、創造的に問題を解決していくことができ、かつ、心の豊かさを持った人となるために、主体的に取り組む姿勢や対話を通して協働し課題を解決していくことで深い学びの体験となるよう講義を行う。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習は、以下のことを到達目標とする。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。

具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識やPCの活用能力を身につける。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。

具体的には、経営学科行事や学生同士、学生と教員との親睦等を通じて協働していたり、人間関係を円滑にしていたりすることができる対人関係能力や、コミュニティ活動に関連する大学生活に必要なスキルや社会の中での必要なスキルを身につけることができる。

22.授業計画

<講義方法>

本演習は、対面授業で行います。対面時においてもWeb Classで資料配付やレポート提出について連絡しますので、必ず確認してください。また、新型コロナウイルス感染状況等により、学校閉鎖になるなど対面授業が行えない場合は、Zoomを使用したオンライン授業を行います。その場合は、講義前日までに具体的な指示をWeb Classで連絡事項を送信するので確認してください。

<授業における基本的な事項>

対面授業：教室にて、成果発表、レポート提出を行う。

持参するPCの管理（充電状況・Officeの準備・動作確認など 持参物：マウス・充電器など）

オンライン授業：Zoomで成果発表、Web Classからレポート提出を行う。

<シラバス>

1 後期時間割作成・前期の成績について

事前学修：講義概要をもとに時間割を作成しておくこと。

事後学修：前期の成績を踏まえて後期の目標を立てること。

2 議論をしてみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

3 議論をしてみよう-実際の議論を体験してみる-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

4 議論をしてみよう-議論を振り返ってみよう-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

5 レポートを書いてみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

6 レポートを書いてみよう-レポートを書く手順を知ろう-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

7 レポートを書いてみよう-正確な文章を書くために必要なことは-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

8 経営学科の2年演習コース説明会

事前学修：講義概要を読んで経営学科の3つのコースについて把握しておくこと。

事後学修：コース説明会やシラバスを読んで自分の行きたいコースを選択すること。

9 プレゼンテーションをやってみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

10 プレゼンテーションをやってみよう-班の設定とグループワーク-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

11 プレゼンテーションをやってみよう-課題の作成-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

12 プレゼンテーションをやってみよう-課題の作成-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

13 プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

14 プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

15 1年のまとめ

事前学修：後期で行った講義・演習内容を振り返り課題を把握すること。

事後学修：次年度の研究演習2年に向けて必要なスキルを確認しておくこと。

23.予習・復習

予習(2時間程度)：授業資料の該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。

復習(2時間程度)：演習内容の振り返りと整理をし、提出課題を作成すること。

24.注意事項

- ・学校閉鎖時にはZoomを使用した講義となります。
- ・学生準備のPCについて
 - ・毎回使用し講義を進めていきます。インターネットやOSU-Portを活用するためPCのWi-Fi設定や課題への取り組みのためのExcel、Word、PowerPoint等のソフトウェアの使用環境の整備をしておくこと。
 - ・持参するPCの管理に留意すること。(充電状況・動作確認など 持参物：マウス・充電器など)
 - ・課題への取り組みは内容により、次の授業で解説する、コメント等を付けて返却する、講義の中で協議・検討する題材に取りあげる、それぞれの課題の内容について意見交換や協議を行う。

25.教材

教材プリントや新聞記事等を適宜配布し活用する。

26.教科書

27.参考書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会編
出版社	専修大学出版局
価格	900円＋税

28.授業関連科目

研究演習2年、3年及び4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	40
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	10
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト	適宜小テストを実施評価する。	10
レポート	毎回レポートで評価する。	75
成果発表	講義での発表・発言を評価する。	10
受講態度	講義への参加態度を評価する。	5
その他		

コード	33345
名称	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-33345)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	33345
4.授業科目	教養演習Ⅰ(2026-前期-木4-33345)
5.単位	2
6.担当教員	森山 泰幸
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	

12.実務経験

13.実務経験：内容

14.実務経験：授業との関連

15.初年次教育

初年次教育

16.授業形態

演習
実習・実技

17.授業方法

受動型
アクティブラーニング：ディスカッションディベート
アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク
アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

PC・タブレット（学生自身が準備）

19.接続科目

地域社会
産業界

20.授業の概要

社会的事象を「自分ごと化」して捉え、クラスの生徒が積極的に意見交換し、表現力やコミュニケーション能力を高め、主体的・創造的に問題を解決できる深い学びの体験となるよう講義を行う。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。

具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を身につけることができる。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍するためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。

具体的には、経営学科行事や学生同士、学生と教員との親睦等を通じてつきあいを円滑にする人間関係、コミュニティ活動に関連する大学生活で必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけることができる。

22.授業計画

<講義方法>

本演習は、対面授業で行います。対面時においても『WebClass』で資料配付やレポート提出について連絡しますので、必ず確認してください。

また、新型コロナウイルス感染状況等により、学校閉鎖になるなど対面授業が行えない場合は、「ZOOM」を使用したオンライン授業を行います。その場合は講義前日までに具体的な指示を『WebClass』の「メッセージ」や「お知らせ」に連絡事項を載せますので、確認してください。

<授業における基本的な事項>

対面授業：教室にて、成果発表，レポート提出を行う。

オンライン授業：「ZOOM」で成果発表，『WebClass』からレポート提出を行う。

<シラバス>

1 時間割作成、仲間づくり（自己・他己紹介、リーダーシップ）

事前学修：学生便覧を読んで時間割を作成しておくこと。

事後学修：時間割について指導された内容を反映させること。

2 目標探し、グループ活動、ゼミ内組織づくり

教科書：「新・知のツールボックス」プロローグ

事前学修：高校時代に前向きに取り組んだこと、大学生としてこれからやりたいことをまとめておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

3 高校の授業と大学の講義の違いはどこにあるのか

教科書：「新・知のツールボックス」第1章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

4 学びの攻略法、授業の聴き方・ノートの取り方を学ぶ

教科書：「新・知のツールボックス」第1章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

5 メディア・リテラシーを学ぶ

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

6 図書館の使い方を学ぶ

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：実際に興味のある本を借りて読んでみる。

7 ネットのコミュニケーションを活用する

教科書：「新・知のツールボックス」第7章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

8 モチベーションアップレセプション（経営学科行事）

事前学修：在学中にやりたいことや将来の目標について考えてみる。

事後学修：自分の目標を達成するためにはどうすれば良いのかを再度考えてみる。

9 文章を読んでみよう

教科書：「新・知のツールボックス」第3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

10 グループ協議-ゼミ内活動について-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

11 グループ協議-人間関係づくりについて-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：高校時代に主体的に取り組んだ内容をまとめておくこと。また、教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

12 レポートを書いてみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

13 レポートを書いてみよう-レポートを書く手順を知る-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

14 プレゼンテーションについて学習しよう

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

15 前期のまとめ

事前学修：前期で行った講義・演習内容を振り返り自己課題を把握すること。

事後学修：前期の振り返りをふまえて、後期に向けた準備をすること。

23.予習・復習

予習(2時間程度)：授業資料の該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。

復習(2時間程度)：演習内容の振り返りと整理をし、提出課題を作成すること。

24.注意事項

- ・学校閉鎖時にはZoomを使用した講義とする。
- ・毎回、教科書を持参する。
- ・学生準備のPCについて
 - ・毎回使用し講義を進める。インターネットやOSU-Portを活用するためPCのWi-Fi設定や課題への取り組みのためのExcel、Word、PowerPoint等のソフトウェアの使用環境の整備しておく。
 - ・持参するPCの管理に留意する。(充電状況・動作確認など 持参物：マウス・充電器など)
- ・課題への取り組みは内容により、次の授業で解説する、コメント等を付けて返却する、講義の中で協議・検討する題材に取りあげる、それぞれの課題の内容について意見交換や協議を行う。
- ・学生の興味関心、演習進度に応じて、演習内容を変更する可能性がある。

25.教材

教材プリントや新聞記事等を適宜配布し活用する。

26.教科書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年，研究演習3年，研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	30
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	5
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	15
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	20
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	演習テーマごとのレポート提出	30
成果発表	テーマ設定に基づいたゼミ内プレゼンテーション	40
受講態度	発表を受けての質問や討議などへの積極的な演習参加態度	30
その他		

コード	33346
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33346)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33346
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33346)
5.単位	2
6.担当教員	森山 泰幸
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	

12.実務経験

13.実務経験：内容

14.実務経験：授業との関連

15.初年次教育

初年次教育

16.授業形態

演習
実習・実技

17.授業方法

受動型
アクティブラーニング：ディスカッションディベート
アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク
アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

PC・タブレット（学生自身が準備）

19.接続科目

地域社会
産業界

20.授業の概要

社会的事象を「自分ごと化」して捉え、クラスの生徒が積極的に意見交換し、表現力やコミュニケーション能力を高め、主体的・創造的に問題を解決できる深い学びの体験となるよう講義を行う。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけることができる。

具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を身につけることができる。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍するためのソーシャル・スキルズを身につけることができる。

具体的には、経営学科行事や学生同士、学生と教員との親睦等を通じてつきあいを円滑にする人間関係、コミュニティ活動に関連する大学生活で必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけることができる。

22.授業計画

<講義方法>

本演習は、対面授業で行います。対面時においても『WebClass』で資料配付やレポート提出について連絡しますので、必ず確認してください。

また、新型コロナウイルス感染状況等により、学校閉鎖になるなど対面授業が行えない場合は、「ZOOM」を使用したオンライン授業を行います。その場合は講義前日までに具体的な指示を『WebClass』の「メッセージ」や「お知らせ」に連絡事項を載せますので、確認してください。

<授業における基本的な事項>

対面授業：教室にて、成果発表，レポート提出を行う。

オンライン授業：「ZOOM」で成果発表，『WebClass』からレポート提出を行う。

<シラバス>

1 後期時間割作成・前期の成績について

事前学修：講義概要をもとに時間割を作成しておくこと。

事後学修：前期の成績を踏まえて後期の目標を立てること。

2 テーマを決めて実際に調べてみよう-導入編-

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読み調べた内容を整理しておくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

3 テーマを決めて実際に調べてみよう-発展編-

教科書：「新・知のツールボックス」第2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

4 レポートを書いてみよう-演習-

教科書：「新・知のツールボックス」第5章

事前学修：教科書の該当箇所を読みレポートの構成を考えておくこと。

事後学修：演習を振り返り、レポートの校正を行う。

5 調べた内容を発表しよう1

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：レポートをもとに発表準備をすること。

事後学修：提出課題（発表の振り返り、相互評価）を作成すること。

6 調べた内容を発表しよう2

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：レポートをもとに発表準備をすること。

事後学修：提出課題（発表の振り返り、相互評価）を作成すること。

7 議論をしてみよう-ディベートから学ぶ-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

8 議論をしてみよう-議論を振り返る-

教科書：「新・知のツールボックス」第4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

9 経営学科の2年演習コース説明会

事前学修：講義概要を読んで経営学科の3つのコースについて把握しておくこと。

事後学修：コース説明会やシラバスを読んで自分の行きたいコースを選択すること。

10 プレゼンテーションをやってみよう-班の設定とグループワーク-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

11 プレゼンテーションをやってみよう-課題の作成-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

12 プレゼンテーションをやってみよう-課題の作成-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んでおくこと。

事後学修：提出課題を作成すること。

13 プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：報告に必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

14 プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告-

教科書：「新・知のツールボックス」第6章

事前学修：報告に必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

15 1年のまとめ

事前学修：後期で行った講義・演習内容を振り返り課題を把握すること。

事後学修：次年度の研究演習2年に向けて必要なスキルを確認しておくこと。

23.予習・復習

予習(2時間程度)：授業資料の該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。

復習(2時間程度)：演習内容の振り返りと整理をし、提出課題を作成すること。

24.注意事項

- ・学校閉鎖時にはZoomを使用した講義とする。
- ・毎回、教科書を持参する。
- ・学生準備のPCについて
 - ・毎回使用し講義を進める。インターネットやOSU-Portを活用するためPCのWi-Fi設定や課題への取り組みのためのExcel、Word、PowerPoint等のソフトウェアの使用環境の整備しておく。
 - ・持参するPCの管理に留意する。(充電状況・動作確認など 持参物：マウス・充電器など)
- ・課題への取り組みは内容により、次の授業で解説する、コメント等を付けて返却する、講義の中で協議・検討する題材に取りあげる、それぞれの課題の内容について意見交換や協議を行う。
- ・学生の興味関心、演習進度に応じて、演習内容を変更する可能性がある。

25.教材

教材プリントや新聞記事等を適宜配布し活用する。

26.教科書

27.参考書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

28.授業関連科目

研究演習2年，研究演習3年，研究演習4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	5
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	30
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	10
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	5
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	15
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	20
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	演習テーマごとのレポート提出	30
成果発表	テーマ設定に基づいたゼミ内プレゼンテーション	40
受講態度	発表を受けての質問や討議などへの積極的な演習参加態度	30
その他		

コード	31756
名称	教養演習Ⅰ (2026-前期-木4-31756)
1.開講年度	2026
2.開講期	前期 木4限
3.講義コード	31756
4.授業科目	教養演習Ⅰ (2026-前期-木4-31756)
5.単位	2
6.担当教員	渡邊 憲二
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 演習	
17.授業方法 受動型 アクティブラーニング：ディスカッションディベート アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（学生自身が準備）	
19.接続科目	
20.授業の概要 本演習は、経営学部経営学科の演習科目として、本学の教育目標うち主に「専門学術の振興」に貢献することを目的とする。本演習では、大学生に必要なスキル習得と文献の輪読を行う。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習は、以下のようなことができるようになることが到達目標です。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけること。

具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を身につけます。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけること。

具体的には、モチベーションアップ・レセプションや学生同士、学生と教員との親睦等を通じて学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけます。

22.授業計画

本演習は、対面講義です。本学が閉鎖された場合、オンライン講義（Zoom）になります。

講義の連絡事項（資料、ZoomのIDなど）は、講義前日までにWebClassを通じて行います。また、課題提出においてもWebClassを通じて行います。

<注意事項>

- 1 本演習は原則としてグループワークを中心に行います。積極的にグループワークに参加するようにして下さい。
- 2 以下のシラバスは学生の興味関心に応じて、演習内容を多少変更する可能性があります。

<シラバス>

- 1 時間割作成・検印・自己（他己）紹介
事前学修：学生便覧を読んで時間割を作成しておくこと。
事後学修：時間割について指導された内容を反映させること。
- 2 高校の授業と大学の講義の違いはどこにあるのか
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。（第1章）
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 3 ノートの取り方を理解しよう
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。（第1章）
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 4 マインドマップを作ってみよう
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。（第1章）
事後学修：マインドマップを見て自分の考えを再整理する。
- 5 モチベーションアップ・レセプション
事前学修：在学中にやりたいことや将来の目標について考えてみること。
事後学修：自分の目標を達成するためにはどうすれば良いのかを再度考えてみる。
- 6 図書館で調べ物をしてみよう
事前学修：図書館に行ってみて自分で気になる本を探してみる。
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 7 メディア・リテラシーとは何か
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。（第2章）
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 8 テーマを決めて実際に調べてみよう-導入編-
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。（第2章）
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 9 テーマを決めて実際に調べてみよう-発展編-
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。（第2章）
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 10 テーマを決めて実際に調べてみよう-まとめ-
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。（第2章）
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 11 文章を読んでみよう-導入編-
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。（第3章）
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 12 文章を読んでみよう-作者の主張していることの把握-
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。（第3章）
事後学修：講義内容を復習しておくこと。
- 13 文章を読んでみよう-パラグラフを見分ける-
事前学修：指定テキストを読んでおくこと。（第3章）
事後学修：講義内容を復習しておくこと。

14 文章を読んでみよう-まとめ-

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。(第3章)

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

15 前期のまとめ

事前学修：前期で行った講義内容で苦手な箇所を把握すること。

事後学修：前期の講義を踏まえて苦手だった箇所を復習すること。

23.予習・復習

予習：3時間 講義で与えられた課題の調査や発表の準備

復習：1時間 各回の内容の整理

24.注意事項

成績評価方法：レポート（45%）、成果発表（45%）、受講態度（10%）

レポートは資料や文献を調べて纏めてもらいます。成果発表はPowerPointによるプレゼンテーションをしてもらいます。受講態度として、授業に参加しない、授業を受ける準備ができていない場合は採点し、評価します。

各回で提出されたレポートやプレゼンテーションは、その場ないし次回講義においてコメント等を行います。

PCに関して、Word、Excel、PowerPointを使用します。

25.教材

26.教科書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年，3年及び4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	40
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	10
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	5
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	レポートは定期的に課題を提示し、提出された課題を評価する。	45
成果発表	成果発表は、各回の報告担当者のプレゼンテーションを評価する。	45
受講態度	受講態度は、授業時の意欲や倫理観を評価する。	10
その他		

コード	33076
名称	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33076)
1.開講年度	2026
2.開講期	後期 木4限
3.講義コード	33076
4.授業科目	教養演習Ⅱ (2026-後期-木4-33076)
5.単位	2
6.担当教員	渡邊 憲二
7.配当学年：法学科	
8.配当学年：経済学科	
9.配当学年：経営学科	1年 2年
10.配当学年：商学科	
11.備考	
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育 初年次教育	
16.授業形態 演習	
17.授業方法 受動型 アクティブラーニング：ディスカッションディベート アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク アクティブラーニング：プレゼンテーション	
18.受講生のPC等使用 PC・タブレット（学生自身が準備）	
19.接続科目 地域社会	
20.授業の概要 本演習は、経営学部経営学科の演習科目として、本学の教育目標うち主に「専門学術の振興」に貢献することを目的とする。本演習では、大学生に必要なスキル習得と文献の輪読を行う。	

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

学力の3要素を入学後さらに伸長することを目的に、「21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する」に到達目標を、「30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）」：（ディプロマポリシーと同等）にカリキュラムポリシーの項目ごとの評価（手段）方法、学習目標（比率）等を記載する。

本演習は、以下のようなことができるようになることが到達目標です。

目標1 大学生として必要な基本的なスキルを身につけること。

具体的には、ノートの取り方、レポートの書き方、資料収集などの基本的知識を身につけます。

目標2 在学中も含めて、将来社会の中で活躍できるためのソーシャル・スキルズを身につけること。

具体的には、モチベーションアップ・レセプションや学生同士、学生と教員との親睦等を通じて学生生活に必要なスキルや社会の中で必要なスキルを身につけます。

22.授業計画

本演習は、対面講義です。本学が閉鎖された場合、オンライン講義（Zoom）になります。

講義の連絡事項（資料、ZoomのIDなど）は、講義前日までにWebClassを通じて行います。また、課題提出においてもWebClassを通じて行います。

<注意事項>

- 1 本演習は原則としてグループワークを中心に行います。積極的にグループワークに参加するようにして下さい。
- 2 以下のシラバスは学生の興味関心に応じて、演習内容を多少変更する可能性があります。

<授業計画>

1 後期時間割作成・前期の成績について

事前学修：講義概要をもとに時間割を作成しておくこと。

事後学修：前期の成績を踏まえて後期の目標を立てること。

2 議論をしてみよう-導入編-

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。(第4章)

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

3 議論をしてみよう-実際の議論を体験してみる-

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。(第4章)

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

4 議論をしてみよう-議論を振り返ってみよう-

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。(第4章)

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

5 レポートを書いてみよう-導入編-

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。(第5章)

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

6 レポートを書いてみよう-レポートを書く手順を知ろう-

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。(第5章)

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

7 レポートを書いてみよう-正確な文章を書くために必要なことは-

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。(第5章)

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

8 経営学科の2年演習コース説明会

事前学修：講義概要を読んで経営学科の3つのコースについて把握しておくこと。

事後学修：コース説明会やシラバスを読んで自分の行きたいコースを選択すること。

9 プレゼンテーションをしてみよう-導入編-

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。(第6章)

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

10 プレゼンテーションをしてみよう-班の設定とグループワーク-

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。(第6章)

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

11 プレゼンテーションをしてみよう-課題の作成-

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。(第6章)

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

12 プレゼンテーションをしてみよう-課題の作成-

事前学修：指定テキストを読んでおくこと。(第6章)

事後学修：講義内容を復習しておくこと。

13 プレゼンテーションをしてみよう-課題の報告-

事前学修：報告で必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

14 プレゼンテーションをやってみよう-課題の報告-

事前学修：報告に必要なことは何だったのかを再度確認しておくこと。

事後学修：報告で足りなかったことは何だったのかを確認しておくこと。

15 1年のまとめ

事前学修：後期で行った講義内容で苦手な箇所を把握すること。

事後学修：次年度の研究演習2年に向けて必要なスキルを確認しておくこと。

23.予習・復習

予習：3時間 講義で与えられた課題の調査や発表の準備

復習：1時間 各回の内容の整理

24.注意事項

成績評価方法：レポート（45%）、成果発表（45%）、受講態度（10%）

レポートは資料や文献を調べて纏めてもらいます。成果発表はPowerPointによるプレゼンテーションをしてもらいます。受講態度として、授業に参加しない、授業を受ける準備ができていない場合は採点し、評価します。

各回で提出されたレポートやプレゼンテーションは、その場ないし次回講義においてコメント等を行います。

PCに関して、Word、Excel、PowerPointを使用します。

25.教材

26.教科書

ISBN	9784881253885
書名	改訂版 新・知のツールボックス
著者	専修大学出版企画委員会／編集
出版社	専修大学出版局
価格	900

27.参考書

28.授業関連科目

研究演習2年，3年及び4年

29.授業関連資格

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	40
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	10
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	5
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	5
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	10
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	10
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	10
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト		
レポート	レポートは定期的に課題を提示し、提出された課題を評価する。	45
成果発表	成果発表は、各回の報告担当者のプレゼンテーションを評価する。	45
受講態度	受講態度は、授業時の意欲や倫理観を評価する。	10
その他		